

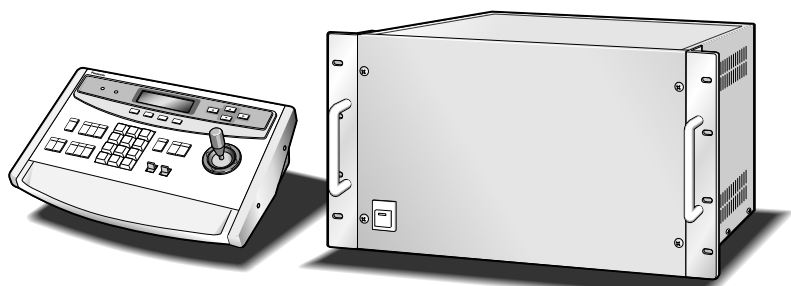
自動追尾システム用

コントロールソフト

品番 **WV-AS230K**

もくじ

商品概要	i
はじめに	ii
ご使用になる前に	iii
第1章 システムの概要	1
第2章 システムの起動と終了	11
第3章 操作のしかた	17
第4章 メニューパネルの概要	25
第5章 アラームに関する操作	29
第6章 アラーム情報の表示設定	46
第7章 設定内容の変更(ユーザ設定)	52
第8章 マップの印刷	62
付 録	64



このたびは、自動追尾システム用コントロールソフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本ソフトウェアは、マトリクススイッチャーを中心とした監視システムを、パーソナルコンピューター（PC）で集中制御するためのコントロールソフトです。

本ソフトウェアを導入することによって、カメラやモニタをGUI（Graphic User Interface）で、直感的に操作可能な、グラフィックコントロール監視システム※にステップアップすることができます。

※本システムの標準的な機器構成は2ページをお読みください。

本システムの特長を以下に示します。

- **マップを見ながら直感的に操作可能なグラフィックコントロール監視システム**

監視場所はPCの画面にマップとして表示されます。マップにはカメラの位置、アラーム発生場所などがアイコンでグラフィック表示されるため、監視場所全体の状況を容易に把握することができます。

また、マップ上で監視したい場所をクリックするだけで映像を切り換えたり、カメラのアイコンをクリックするだけでカメラを選択できるなど、直感的に操作することができます。

さらに、アラーム発生件数を色分け表示したり、カメラの場所をアイコンで表示したりするなど、監視場所全体がグラフィック表示で確認できます。

- **アラームに対応してカメラの自動制御が可能**

取り付けしたセンサーから出力されるアラーム信号に反応して、自動的にカメラをアラームが発生した場所に向けて、映像をモニタに映し出すことができます。1つのアラームに4台までのカメラが反応し、4方向から監視できます。

アラーム発生件数によってアイコンの色を変えて表示することが可能なため、マップを見るだけでアラームの発生状況を把握することができます。

- **デジタルディスクレコーダーとAVディスクレコーダーに映像の録画が可能**

パソコンにデジタルディスクレコーダー（WJ-HD316）を接続して、モニタに表示された映像を録画できます。また、録画したアラーム映像を簡単に再生・頭出しできます。詳しくはデジタルディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。

- **カメラ録画用のデジタルディスクレコーダーの制御が可能**

本システムには、最大8台のデジタルディスクレコーダー（WJ-HD316）を接続して、カメラの映像を録画することができます。録画された映像を再生したり、時刻を指定して検索・再生したりすることができます。

- **アラームログのリストの印刷・保存が可能**

発生したアラームのリスト（発生時刻、場所、アラーム内容）を印刷したり、フロッピーディスクなどへ保存することができます。また、保存したアラームリストのデータを再度読み込ませて、画面上で確認することもできます。

はじめに

本書は、自動追尾システム用コントロールソフトの操作説明書です。パソコンやコントローラー（WV-CU550シリーズ）を使った本システムの基本操作や映像監視を行うための各種機能の使いかたを説明しています。本システムは、お客様が最適にお使いになれるようあらかじめ初期設定されています。このため、マニュアル中で使用している画面の構成が異なることがあります。また、システム構成や接続している機器によっては、使用できない機能もあります。詳しくは、販売店またはサービスにご確認ください。

本書の構成

第1章 システムの概要

この章では、本システムの構成や、パソコンに表示されるメイン画面、コントローラーの概要を説明しています。

第2章 システムの起動と終了

この章では、本システムの操作方法の概要と起動・終了方法について説明しています。

第3章 操作のしかた

この章では、モニタとカメラの操作、またマップの表示に関する操作について説明しています。

第4章 メニューパネルの概要

この章では、メニュー一覧やメニューパネルの開きかたなど、メニューパネルの概要について説明しています。メニューパネルではアラームに関する機能や各種設定の変更ができます。

第5章 アラームに関する操作

この章ではアラームに関する機能の内容、操作方法などを説明しています。

第6章 設定内容の変更（ユーザ設定）

この章では各種設定の変更のしかたについて説明しています。

第7章 アラーム情報の表示設定

この章では、アラーム発生時にモニターに表示されるアラーム情報の表示方法について説明しています。

第8章 マップの印刷

マップの印刷のしかたについて説明しています。

付録

ご使用になる前に

お守りください

- パソコンにインストールされているソフトウェアはWindows® 2000 (SP4) 上で動作します。Windows® 2000の設定を変更すると、本システムのソフトウェアが正常に動作しなくなる恐れがあります。このため、Windows® 2000の設定は変更しないでください。
- システムの安定性を確保するため、必ず1日1回システムを終了させてください。
- 本システムで使用するパソコンには、メーカー指定以外のソフトウェアおよび拡張ボード、内蔵機器を搭載しないでください。動作環境の変更により、システムが正常に動作しなくなる恐れがあります。
 - ・パソコンにインストールされているソフトウェア (OS、各種データファイル等) に変更などを加えないでください。システムが正常に動作しなくなる恐れがあります。
 - ・マトリクススイッチャーなど本システムで使用する機器の設定を変更しないでください。お客様で自身で変更すると、けがや故障、誤動作の原因となります。変更が必要な場合は、販売店またはサービスにご相談ください。
 - ・本システムに対するご質問は、サービスへご相談ください。

商標・登録商標について

Microsoft®及びWindows® 2000は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

第1章 システムの概要

この章では次の内容について説明しています。

1.1 システムの構成	2
標準機器構成(概念図)	2
1.2 メイン画面（起動画面）	4
マップ表示部	6
1.3 コントローラー	8
1.4 マウスの使いかた	10

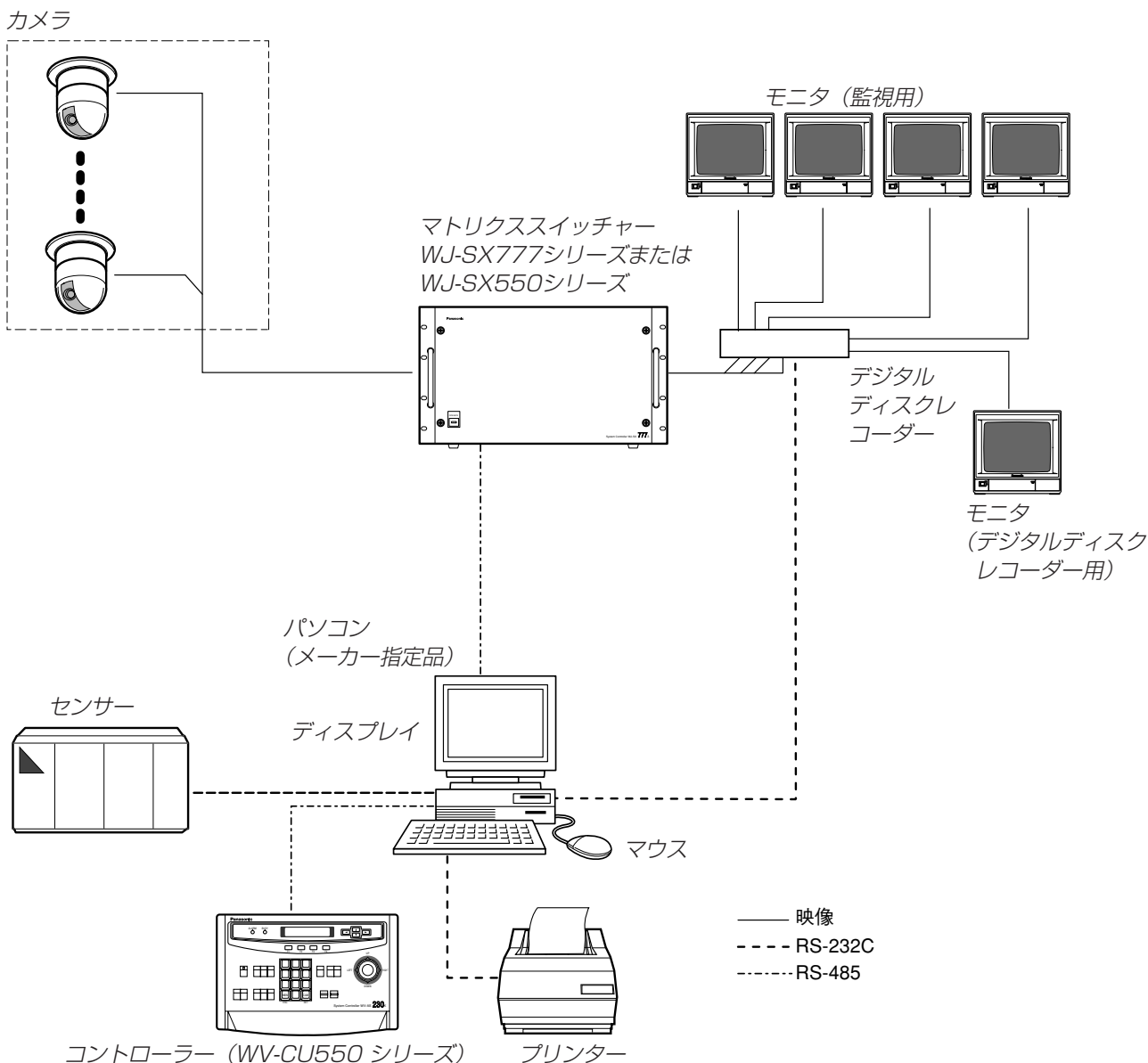
1.1 システムの構成

ここでは、本システムの標準機器構成について説明します。

この標準機器構成は、マトリクススイッチャーに接続されている複数台のプリセットカメラを、パソコンとコントローラーから操作できるシステムです。センサーを接続すると、アラームに対応して自動的にカメラをアラーム発生場所に向け、その映像をモニタに表示することもできます。また、デジタルディスクレコーダーを接続していれば、その映像を録画することもできます。

この機器構成はあくまでも標準構成ですので、お客様によって異なります。接続してある機器や接続可能な機器については、販売店にご相談ください。

標準機器構成(概念図)



- ・ボードの組み込みや、本ソフトウェアのインストール、機器の接続は当社工場にて行います。
- ・本書では監視用のモニタを「モニター」、パソコンのモニタは「ディスプレイ」と表記しています。

(1) パーソナルコンピューター(PC)

マトリクススイッチャー、デジタルディスクレコーダーなどと接続して、本システムの制御を行います（接続できるのはメーカー指定機種だけです）。

監視場所の見取り図（メイン画面のマップ）やモニタの状況をディスプレイにグラフィカルに表示します（→P.4）。ディスプレイを見ながら、マウスを操作することで、対象となるカメラの映像を切り替えたり、アラーム発生の履歴を保存するなど、様々な監視制御が可能です。

パソコンにはあらかじめ、本システムの制御に必要なアプリケーションが組み込まれており、システムを立ち上げると自動的に起動します。

(2) マトリクススイッチャー

PCからの命令を受け、モニタ選択、カメラ選択、カメラ操作を行います。

(3) カメラ

各監視場所について4台までのカメラを割り当てることができます。

(4) マウス

本ソフトウェアで自動追尾システムを操作するために使います。

(5) コントローラー

マウスと同様にPCを操作します。

システムコントローラー（WV-CU550シリーズ）にWV-AS230Kのテンプレートをかぶせて使用します。

(6) モニタ

カメラの映像やデジタルディスクレコーダーの映像を表示します。

(7) デジタルディスクレコーダー（WJ-HD316）

モニタに表示されている映像とアラーム発生場所の映像を録画します。

(8) センサー

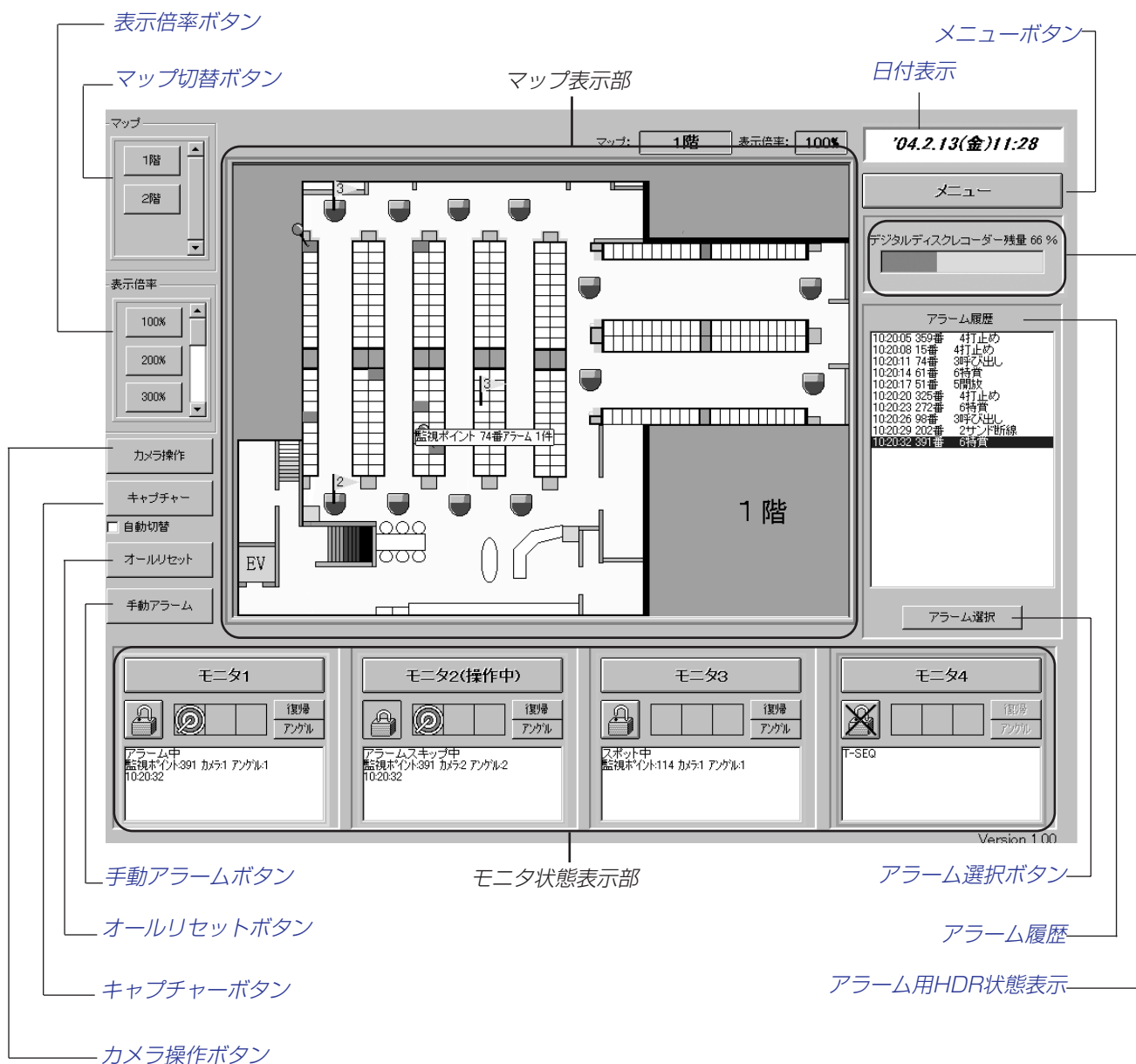
監視場所からのアラーム情報を本システムに送ります。

(9) プリンター

プリンターを接続することによって監視場所のレイアウトを示したマップや本システムに入力されたアラームの履歴(ログ)を印刷することができます。

1.2 メイン画面（起動画面）

本システムを起動すると、ディスプレイにメイン画面（下図）が表示されます。この画面で各種操作を行います。



- ・ グレー表示のボタンは操作できません。
- ・ メイン画面に表示されるマップや各種アイコンは異なる場合があります。

メニューボタン (→P.27)

メニューパネルを開くときに押します。

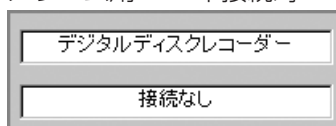
日付表示

現在の日付、時刻が表示されます。ユーザー設定パネルで時刻を修正できます。(→P.54)

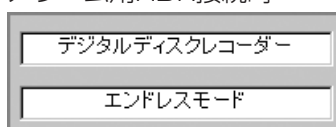
アラーム用HDR状態表示

デジタルディスクレコーダーの残量や動作モード、接続状態を表示します。

- ・アラーム用HDR未接続時



- ・アラーム用HDR接続時



上図はアラーム用HDRをエンドレスモードでご使用になる場合の表示例です。エンドレスモードをご使用にならないときは空き容量表示となります。

アラーム履歴 (→P.37)

本システムが起動してから現在までに入ったアラームを、最新99件までリストで表示します。このアラーム履歴からアラームを選択し、アラーム選択ボタンを押すと、アラームが発生した場所の現在の映像がモニタに表示されます。

【アラーム選択】ボタン (→P.35)

アラームが発生した場所の現在の状況をモニタに表示するときに押します。まず、アラーム履歴からアラームを選択します。アラーム選択後、このボタンを押すと、そのアラームが発生した場所へカメラを向け、現在の状況がモニタに表示されます。

マップ切替ボタン (→P.23)

監視するフロアを切り替えます。選択したフロアのマップが表示されます。キャプチャー画面が表示されている場合、フロアを切り替えるとマップ表示に切り替わります。

表示倍率ボタン (→P.23)

マップを拡大表示します。表示したい倍率のボタンを押します。

【カメラ操作】ボタン (→P.21)

カメラを操作（カメラの向きを変える、パン/チルトなど）するときに押します。このボタンを押すと、カメラ操作画面が表示され、カメラの操作が可能になります。

【キャプチャー】ボタン (→P.24)

マップ表示とキャプチャー画面表示に切り替えます。指定のビデオキャプチャボードがパソコンに組み込まれている場合に操作できます。

【オールリセット】ボタン (→P.31)

アラーム動作をすべて解除し、シーケンス動作に戻します。

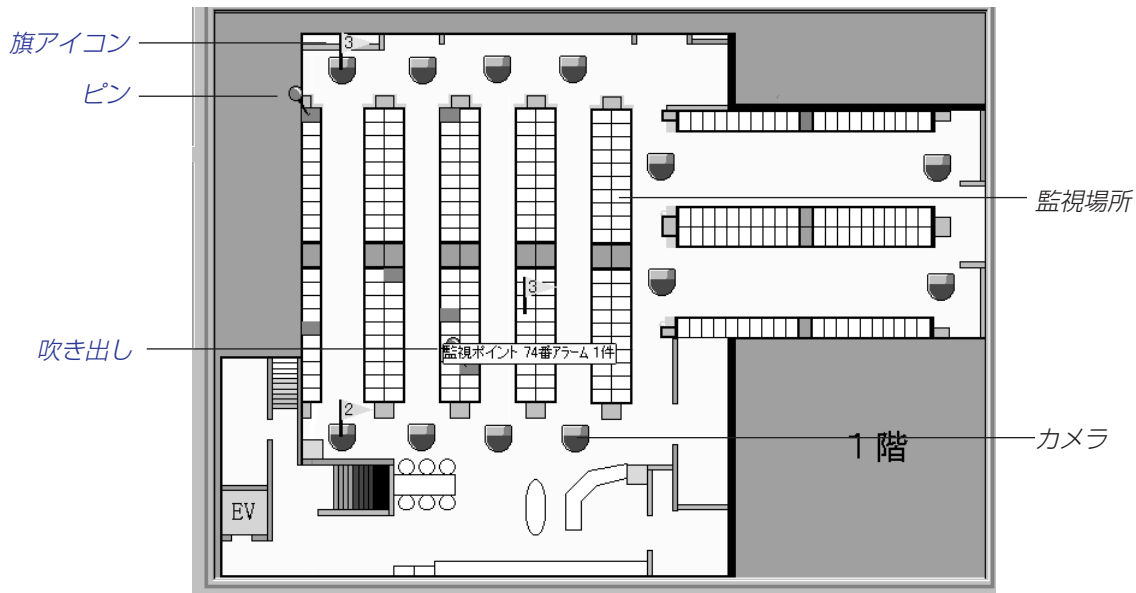
【手動アラーム】ボタン (→P.34)

モニタに表示されているアラーム映像を、デジタルディスクレコーダーに録画します。

1.2 メイン画面（起動画面）

マップ表示部

監視場所の見取り図です。監視場所やカメラの位置が表示されます。映像を見たい場所にマウスを合わせてクリックすると、その場所にカメラが向き、モニタに映像を表示できます（→P.19）。
マップ切替ボタンを押すと、他のフロアのマップに切り替わります。（→P.23）



旗アイコン（→P.32）

現在、モニタに表示されているカメラまたは監視場所であることを示します。カメラを選択した場合は、カメラにだけ旗が立ちます。監視場所を選択した場合は、映像を映しているカメラと監視場所の両方に旗が立ちます。旗の数字はモニタの番号、色はモニタボックスの色を表します。

ピン（→P.32）

アラームが入っている（または最近入っていた）監視場所であることを示します。

カメラ

カメラの位置を示します。カメラの位置にマウスを合わせると、カメラ番号が吹き出しに表示されます。また、マウスをクリックするとカメラが選択されます。

監視場所

監視場所を示します。監視場所にマウスを合わせると、吹き出しの中に場所の名前と本システムを起動してから現在までに、その場所に入ったアラーム数を表示します。

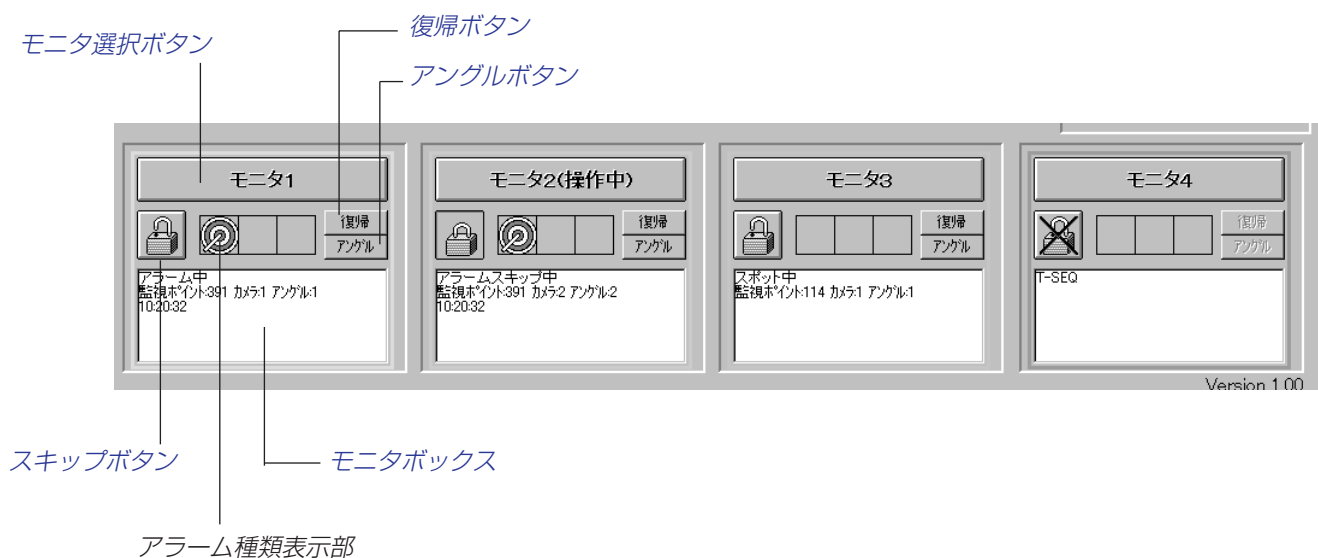
吹き出し（→P.32）

監視場所を選択した場合、その場所でのアラーム発生件数を表示します。カメラを選択した場合、そのカメラのカメラ番号を表示します。

モニタ状態表示部

各モニタの状態や表示されている監視場所を確認できます。

また、以下のボタンを操作してモニターに表示されているアラームを解除する、またはアラームをスキップするなどを操作することができます。



モニタボックス (→P.33)

モニタの状態、監視場所の番号、使用カメラ、使用アングル、選択あるいはアラーム発生時刻が表示されます。

モニタ選択ボタン (→P.18)

モニタを操作するときに押します。操作している間、「(操作中)」と表示されます。

【復帰】ボタン (→P.22)

アラーム動作中またはスポット操作中にシーケンス動作に戻すときに押します。

【アングル】ボタン (→P.22)

異なるアングルで監視したいときに押します。
1つの監視場所に対して、複数台のカメラが割り当てられているときに操作できます。

アラーム種類表示部

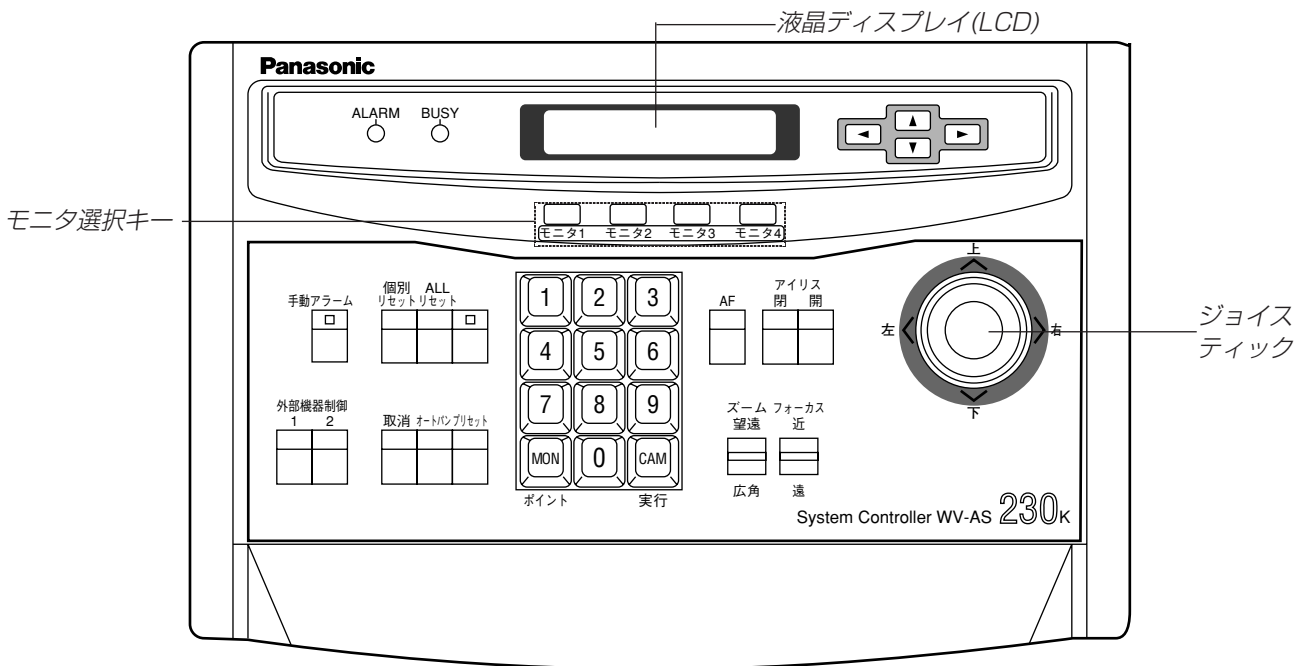
アラーム映像を表示しているときにだけ、入力されたアラームの種類をアイコンで表示します。
アイコンのデザインはお客様によって異なります。

スキップボタン (→P.36)

スキップ機能のON/OFFを切り替えます。
シーケンス動作中は×印が表示され、操作できません。

1.3 コントローラー

メイン画面の制御やカメラの姿勢制御、モニタの選択などを行います。
下図は、上面パネル（WV-AS230K付属）を取り付けた状態です。



液晶ディスプレイ (LCD)

本システムに接続されているモニタの状態を表示します。テンキーで入力した内容も表示されます。モニタの状態は [C]、[S]、[A] で表示されます。[C] は選択中、[S] はスキップ機能ON、[A] はアラーム動作中を意味します。

A--- AS-C A--- A---

F1 F2 F3 F4

F1キーがモニタ1に、F2キーがモニタ2、同様にF3キーとモニタ3、F4キーとモニタ4が対応しています。

ジョイスティック

カメラの操作（パン・チルトなど）を行います。

モニタ選択キー

コントロールするモニタを選択します。接続されていないモニタのキーを押しても反応しません。モニタを選択してから再度このキーを押すと、スキップ機能（→P.36）のON/OFFが切り替わります。スキップ機能をONに設定すると、LCD上に [S] が表示されます。

手動アラームスイッチ（→P.34）

手で本システムをアラーム動作に切り替えます。

個別リセットスイッチ（→P.33）

シーケンス動作に戻します。

ALLリセットスイッチ（→P.33）

アラーム動作をすべて解除し、シーケンス動作に戻します。

外部機器制御1スイッチ

外部機器1の制御を行います。

外部機器制御2スイッチ

外部機器2の制御を行います。

取消スイッチ

テンキーで入力した内容を削除します。

オートパンスイッチ

カメラのオートパンを実行します。オートパンを実行すると、あらかじめ設定した範囲を自動的に旋回します。

プリセットスイッチ

カメラをプリセットポジションに動かします。プリセット番号を入力して、プリセットスイッチを押すとあらかじめ登録しておいたポジションにカメラを動かします。

テンキー

カメラの番号などの数値を入力するときに使います。

入力した数値は液晶ディスプレイに表示されます。数値入力後、(MON/ポイント)キーを押すと、監視場所の選択となります。また、数値入力後、(CAM/実行)キーを押すと、カメラ選択となります。入力した数値は、取消スイッチで削除できます。

MON/ポイントキー

監視場所の選択を行います。

テンキーで数値入力後、このキーを押すと監視場所の選択となります。

CAM/実行キー

テンキーで数値入力後、このキーを押すとカメラの選択となります。また、監視場所を選択したあとにこのキーを押すと、異なるアングルの映像をモニターに表示できます。

AFスイッチ

カメラのオートフォーカスを行います。

アイリススイッチ

カメラのアイリス操作を行います。

ズームスイッチ

カメラレンズのズーミング操作を行います。

フォーカススイッチ

カメラレンズのフォーカス操作を行います。

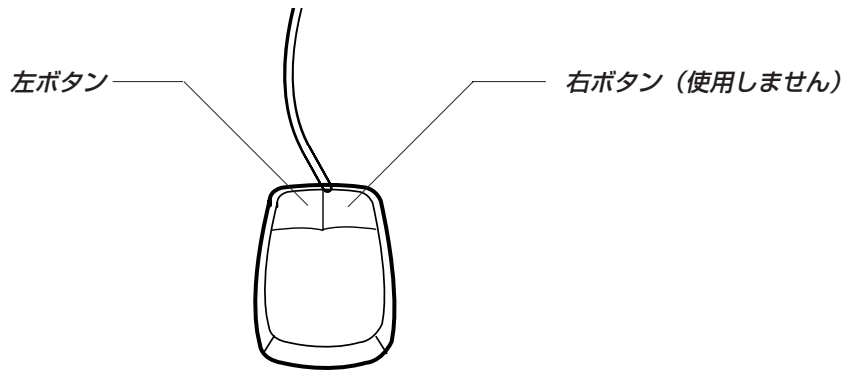
ALARM LED

システムがアラーム状態のとき、点滅します。また、LCD上に [A] を表示します。

BUSY LED

カメラがビジー状態のときに点灯します。

1.4 マウスの使いかた



- クリック : 左ボタンを1回押す操作です。左ボタンのクリック (クリック) で項目の選択または実行ができます。
- ドラッグ : 左ボタンを押しながらマウスを移動する操作です。



マウスの形状は異なる場合があります。

第2章 システムの起動と終了

この章では次の内容について説明しています。

2.1 基本的な操作	12
コントローラーで操作する方法	12
マウスで操作する方法	12
2.2 起動・終了方法	13
起動方法	13
終了方法	14
ログアウトする	16

2.1 基本的な操作

本システムは機能によって、マウスから操作できるものとコントローラーとマウスの両方から操作できるものがあります。コントローラーとマウスからの基本的な操作方法について以下に説明します。

コントローラーで操作する方法

コントローラーのキーに割り当てられた機能はコントローラーから操作します。カメラの選択やカメラの操作など、よく使う機能がコントローラーのボタンに割り振られています。

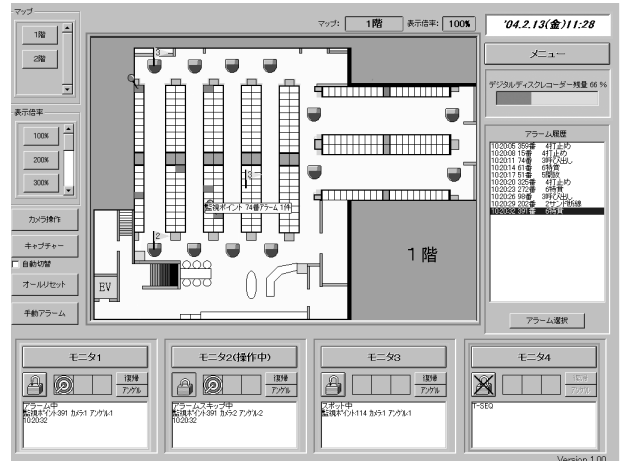
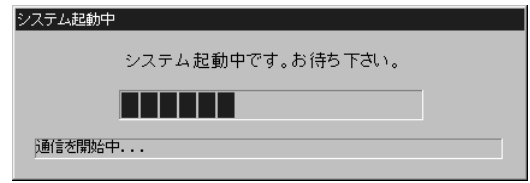
マウスで操作する方法

メイン画面やメニュー画面など、ディスプレイ上に表示されている画面はすべてマウスで操作できます。画面に表示されている各ボタンにマウスを移動して、クリックで選択または実行します。

2.2 起動・終了方法

起動方法

- ①マトリクススイッチャーやデジタルディスクレコーダー、プリンターなどの周辺機器の電源スイッチをONにする。
- ②パソコンの電源スイッチをONにする。
→パソコンのディスプレイに「起動中」を表す画面が表示され、しばらくするとメイン画面が表示されます。



◆オートログインが設定されていない場合◆

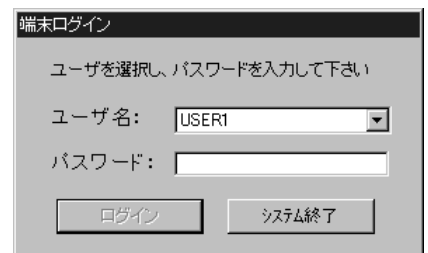
システムを起動するにはユーザ名とパスワードの入力が必要になります。ユーザ名とパスワードの設定方法など詳細は66ページをお読みください。

パソコンの電源スイッチをONにすると、パソコンのディスプレイに「起動中」を示す画面が表示され、しばらくすると右のような画面が表示されます。

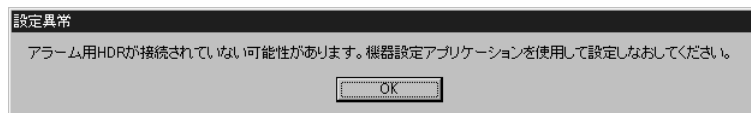
ユーザ名・パスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押す。

→メイン画面が表示されます。

あらかじめ設定したユーザ名とパスワードを入力します。ユーザ名は▼をクリックして選択してください。



◆システム起動時や運用時に以下の画面が表示された場合は◆



機器の接続が正しく行われていない可能性があります。[OK]ボタンを押して、以下の内容を確認してください。接続が正しく行われないと、システムは起動しません。

- ・電源が入っているか
- ・ケーブルがきちんと接続されているか（接続確認するときは、パソコンや周辺機器の電源をOFFにしてから行ってください）

上記の確認を行っても、システムが立ち上がらない場合は、サービスへご連絡ください。

2.2 起動・終了方法

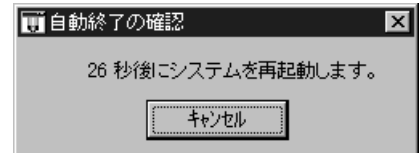
終了方法

システムの終了のしかたには、自動終了と手動終了の2種類があります。

■方法1：自動終了■

自動終了を行うには、あらかじめシステム終了時刻が設定されている必要があります（→P.55）。設定された時刻になると、自動的に「自動終了の確認」画面が表示されます。

終了動作を取り消す場合は、「自動終了の確認」画面の「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



例：自動終了の設定を「再起動」に設定している場合

■方法2：手動終了■

メニューパネルの [システム終了] ボタンを選択して、手動でシステムを終了します。

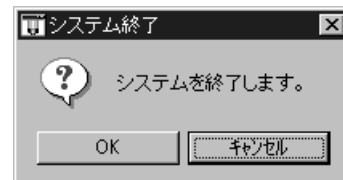
①画面右上の [メニュー] ボタンをクリックする。

→メニューパネルが開きます。



② [システム終了] ボタンをクリックする。

→ [システム終了] 画面が表示されます。



③ [OK] ボタンをクリックする。

→システムが終了します。

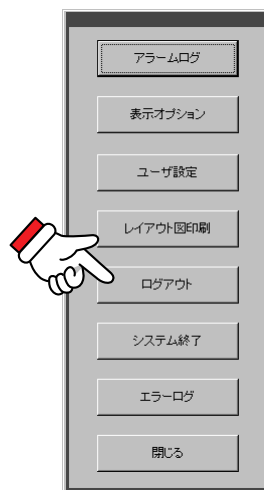
2.2 起動・終了方法

ログアウトする

[ログアウト] ボタンを選択すると、本アプリケーションからログアウトして、ログイン画面になります。

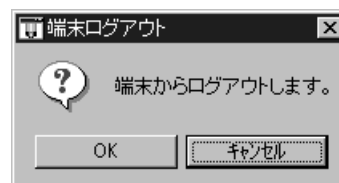
- ①画面右上の [メニュー] ボタンをクリックする。

→メニューパネルが開きます。



- ② [ログアウト] ボタンをクリックする。

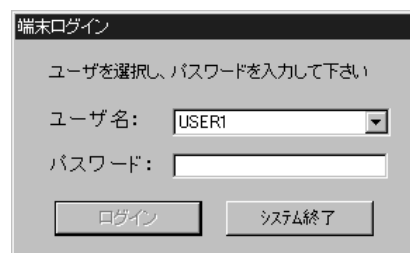
→ [端末ログアウト] 画面が表示されます。



- ③ [OK] ボタンをクリックする。

→アプリケーションからログアウトし、[端末ログイン] 画面になります。

[端末ログイン] 画面が表示されている間、アラームが入力されてもアラーム動作はしません。ただし、アラームログ (履歴) は記録されます。



システム運用中に万マトリクススイッチャーの電源をOFFにした場合、いったんログアウトしてから再度ログインし直してください。

第3章 操作のしかた

この章では次の内容について説明しています。

3.1 モニタを選択する	18
3.2 カメラを操作する	19
カメラを選択する	19
カメラを操作する	20
カメラ操作後、シーケンス動作に戻す	22
カメラアングルを切り替える	22
3.3 マップを操作する	23
マップを切り替える	23
マップを拡大表示する	23
映像表示（キャプチャー画面）に切り替える	24

3.1 モニタを選択する

システムを起動すると、あらかじめ設定されているシーケンスが動作し、モニタにはその映像が表示されます。モニタを選択すると、以下の操作を行うことができます。

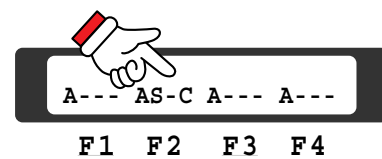
- ・カメラを操作する（パン・チルトなど、モニタで映像を確認しながら、カメラを操作する）
- ・モニタに表示するカメラを切り換える
- ・スキップ機能を設定する（カメラを操作しているときにアラームが入力されても、アラーム入力を無視してモニタの映像がアラーム映像に切り替わらないように設定する）
- ・シーケンス動作に戻す

■方法1：コントローラーによる操作■

①モニタ選択キーを押す。

→モニタ1～4 が選択され、LCD上に「C」の文字が表示されます。

F1キーがモニタ1 に、F2キーがモニタ2、同様にF3キーとモニタ3、F4キーとモニタ4が対応しています。



復帰操作（カメラの操作などから、元のシーケンス映像に戻す）

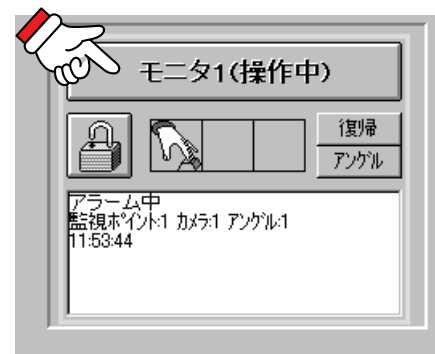
- ・(個別リセット)スイッチを押すと、現在選択されているモニタをシーケンス動作に戻すことができます。
- ・(ALLリセット)スイッチを押すと、全モニタをシーケンス動作に戻すことができます。

■方法2：マウスによる操作■

①メイン画面の下にあるモニタ状態表示部のモニタ選択ボタンをクリックする。

→（操作中）と表示されます。

この状態でカメラを選択すると、そのモニタに選択したカメラの映像が表示されます。



3.2 カメラを操作する

システムを起動すると、カメラはあらかじめ設定されているシーケンスに従って動作します。カメラは個別に操作することもできます。カメラを操作するには、カメラの映像を表示するモニタを選択後、操作したいカメラの選択が必要になります。本システムから操作できるカメラの機能は21ページをお読みください。

カメラを選択する

カメラの選択には、以下の2つの方法があります。

- **カメラを直接選択する**

カメラをコントローラーのテンキーから直接選択します。選択すると、あらかじめ設定されたホームポジションの映像を表示します。

- **監視場所からカメラを選択する**

監視場所をコントローラーのテンキーから選択します。選択すると監視場所の中で優先度の最も高いカメラが選択され、そのカメラの映像が表示されます。本システムは1つの監視場所に対して、あらかじめ最大4台のカメラを割り当てることができます。



選択したいカメラの映像が既に他のモニタに表示されており、そのモニタでスキップ機能が「ON」に設定されているとき、そのカメラは選択できません。

■方法1：コントローラーによる操作■

カメラを直接選択する方法（テンキーで選択）

テンキーでカメラ番号を入力し、(CAM/実行) キーを押す。

→選択したカメラのホームポジションの映像がモニタに表示されます。

監視場所からカメラを選択する方法（テンキーで選択）

テンキーで監視場所の番号を入力し、(MON/台番) キーを押す。

→選択した監視場所の優先度の高いカメラの映像がモニタに表示されます。

■方法2：マウスによる操作■

メイン画面のマップ上から選択したいカメラまたは監視場所をクリックする。

→カメラを選択したとき：選択したカメラのホームポジションの映像がモニタに表示されます。

監視場所を選択したとき：選択した監視場所の中で優先度の高いカメラの映像がモニタに表示されます。

3.2 カメラを操作する

カメラを操作する

以下の項目を操作することができます。

- ・ 回転台の操作（パン/チルト操作） : 回転台を旋回してカメラの方向を変えます。
- ・ アイリス（絞り）調整 : 絞りを調整します。
- ・ フォーカスの調整 : ピントを調整します。
- ・ オートフォーカス : 画面中央の被写体に自動的にピントを合わせます。
- ・ ズーム操作 : 広角または望遠のズームを調整します。
- ・ 外部機器の操作 : 外部機器を制御します。
- ・ オートパン : あらかじめ設定した範囲を自動的に旋回します。
- ・ プリセットポジションへ動かす（コントローラーによる操作のみ） : あらかじめ設定しておいたプリセットポジション（回転台の水平・垂直位置、レンズのズーム・フォーカス位置を設定）へカメラを動かします。
- ・ ランダムパン : カメラの方向をランダムに動かします。
- ・ ワイパー : カメラハウジングのワイパーを動かします。
- ・ デフロスター : レンズのくもり止めを作動します。
- ・ カメラアングルの切り替え : 1つの監視場所に複数台のカメラが割り当てられているとき、カメラを切り替えて、異なるアングルから撮影します。



カメラによっては操作できない機能があります。

■方法1：コントローラーによる操作■

回転台の操作（パン・チルト）

ジョイスティックを動かす。
ジョイスティックを倒す角度で、旋回スピードを調整できます。

アイリス（絞り）の調整

アイリス（開）または（閉）キーを押す。
アイリス（開）、（閉）スイッチを同時に押しすと工場出荷状態に戻ります。

フォーカスの調整

（フォーカス）キーを（近）または（遠）側に操作する。

オートフォーカス（AF）

（AF）キーを押す。

ズーム操作

（ズーム）キーを（望遠）または（広角）側に操作する。

外部機器の制御

（外部機器制御）スイッチを押す。

オートパン

オートパンスイッチを押す。

プリセットスイッチ

プリセット番号を入力して、プリセットスイッチを押す。

■方法2：マウスによる操作■

①メイン画面のマップ上の【カメラ操作】ボタンをクリックする。

→【カメラ操作】画面が表示されます。



②マウスでカメラを操作する。

回転台の操作（パン・チルト）

【左パン】・【右パン】、【チルトアップ】・【チルトダウン】をドラッグする。中心から離れたところをドラッグするとより高速に動作します。

デフロスター

【デフロスター】をクリックする。

アイリス（絞り）の調整

【アイリスオープン】・【アイリスクローズ】をドラッグする。

フォーカスの調整

【フォーカスー近】・【フォーカスー遠】をドラッグする。

オートフォーカス（AF）

【オートフォーカス】をクリックする

ズーム操作

【ズームイン】・【ズームアウト】をドラッグする。

外部機器の制御

【外部機器1】または【外部機器2】をクリックする。

オートパンスイッチ

【オートパン】をクリックする。

ランダムパン

【ランダムパン】をクリックする。

ワイパー

【ワイパー】をクリックする。



操作するためのボタンを押しても動作しないなど、正常に動作しないときは【情報取得】ボタンを押して、再度、各操作ボタンを押してください。

3.2 カメラを操作する

カメラ操作後、シーケンス動作に戻す

操作を行ったカメラの映像を表示しているモニタを選択し、[復帰] ボタンを押す。

→シーケンス動作に戻ります。また、自動的にシーケンス動作に復帰する時間を設定することもできます。
詳しくは60ページをお読みください。

カメラアングルを切り替える

1つの監視場所に対して、あらかじめ複数台のカメラが割り当てられている場合、カメラを切り替えることによって異なるアングルで監視することができます。



- ・本システムは、1つの監視場所に対してあらかじめ最大4台のカメラを割り当てることができます。設定内容は、お客様のシステムによって異なります。
- ・該当するカメラの映像がすでに他のモニタに表示され、そのモニタでスキップ機能が「ON」に設定されている場合、そのカメラの映像はスキップされ、次のカメラの映像を表示します。

■方法1：コントローラーによる操作■

アングルを変更したいカメラ映像を表示しているモニタを選択し（→P.18）、(CAM/実行) キーを押す。
→ (CAM/実行) キーを押す度に優先順位の順にカメラが切り替わり、異なるアングルで同じ場所を監視できます。

■方法2：マウスによる操作■

アングルを変更したいカメラ映像を表示しているモニタを選択し（→P.18）、[アングル] ボタンをクリックする。
→クリックする度に優先順位の順にカメラが切り替わり、異なるアングルで同じ場所を監視できます。

3.3 マップを操作する

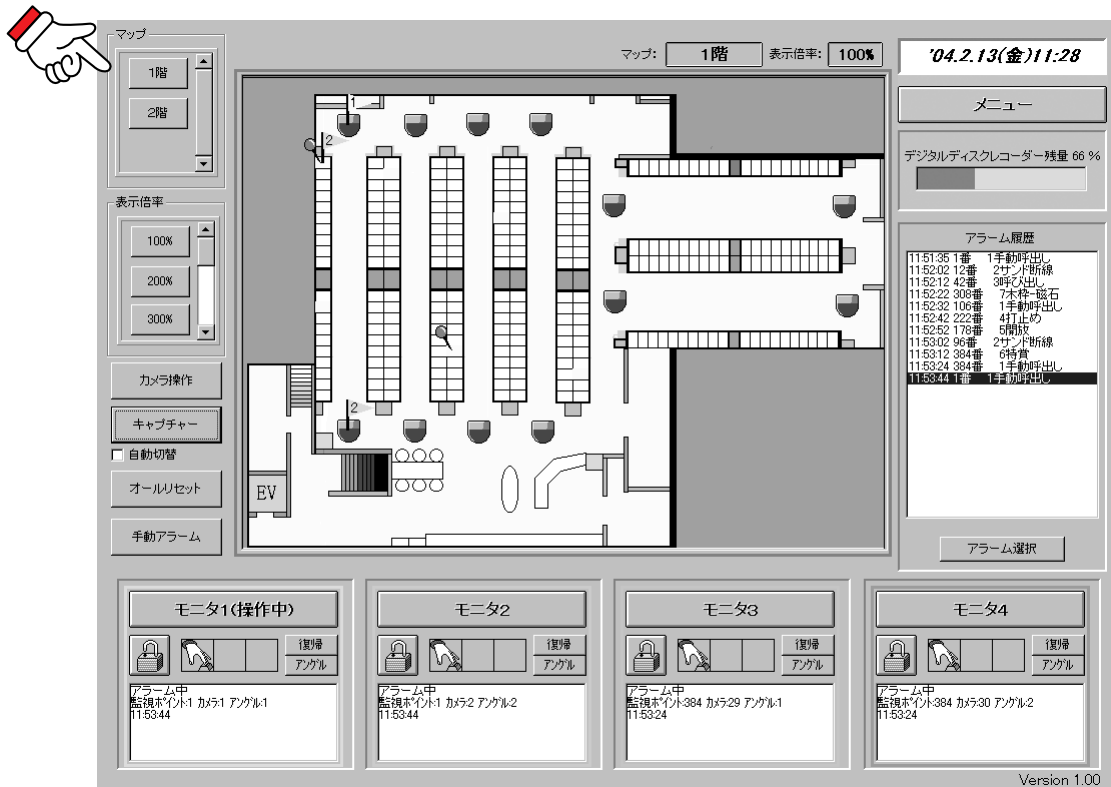
マップはフロアごとに切り替えて表示できます。フロアは最大30フロアまで登録できます。また、マップの細部を確認したい場合、その部分を拡大して表示することもできます。

マップを切り替える

あらかじめ登録されているマップ(最大30フロア)を切り替えて表示します。

メイン画面の [マップ] にある表示したいフロアのボタンをクリックする。

→表示したいフロアのマップが表示されます。

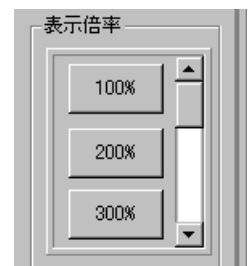


マップを拡大表示する

マップを拡大して、細部を確認できます。倍率は100%~500%まで拡大表示できます。

表示させたい表示倍率のボタンをクリックする。

→マップが拡大表示されます。



カメラを選択すると倍率は100%に戻ります。

3.3 マップを操作する

映像表示（キャプチャー画面）に切り替える

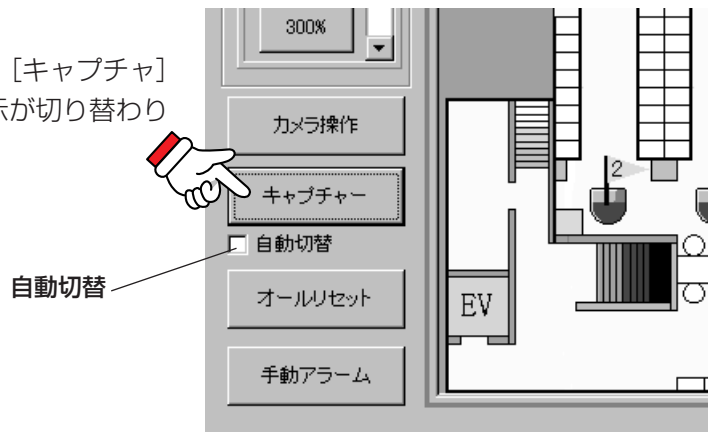
マップ表示から選択したカメラの映像の表示に切り替えることができます。この映像画面を見ながら、カメラを操作することもできます。



この機能を動作させるには、あらかじめ指定のビデオキャプチャーボードがパソコンに組み込まれている必要があります。

① [キャプチャ] ボタンをクリックする。

→マップ表示から映像表示に切り替わります。[キャプチャ] ボタンを押すたびに、マップ表示と映像表示が切り替わります。



アラームが入力されたときに、自動的にキャプチャー画面に切り替えるには

[キャプチャー] ボタンの下にある、「自動切替」をチェックしてください。チェックすると、アラームが入力されたとき、自動的にマップ画面からアラームが発生した場所のキャプチャー画面に切り替わります。システム起動時、「自動切替」はチェックされています。

第4章

メニューパネルの概要

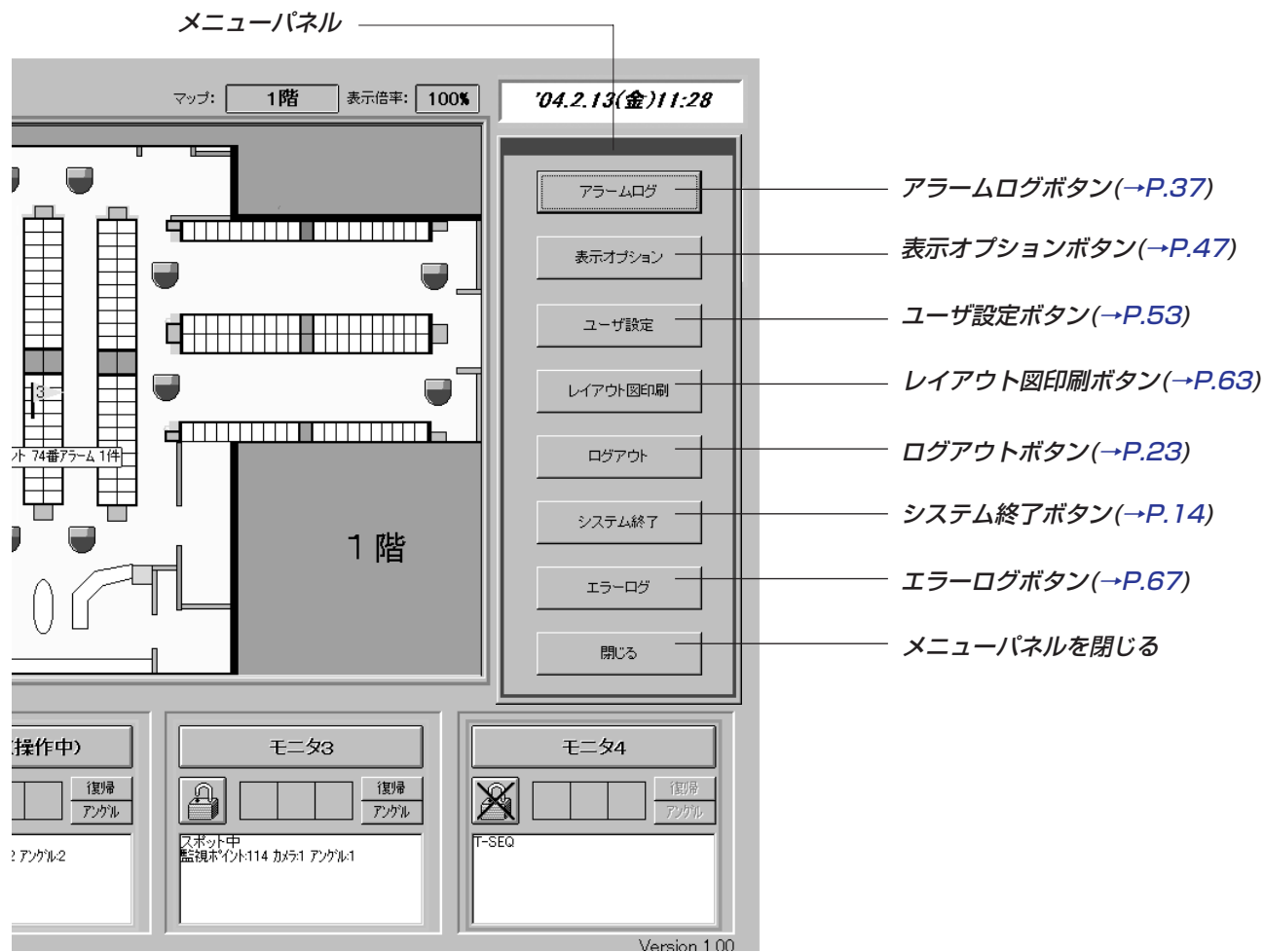
この章では次の内容について説明しています。

4.1 メニューパネル……………26

4.2 メニューパネルの開きかた……………27

メニューパネルではアラームに関する機能や各種設定の変更ができます。
アラームに関する機能については第5章「アラームに関する操作」(→P.29)、各種設定の変更については第7章「設定内容の変更(ユーザ設定)」(→P.52)をお読みください。

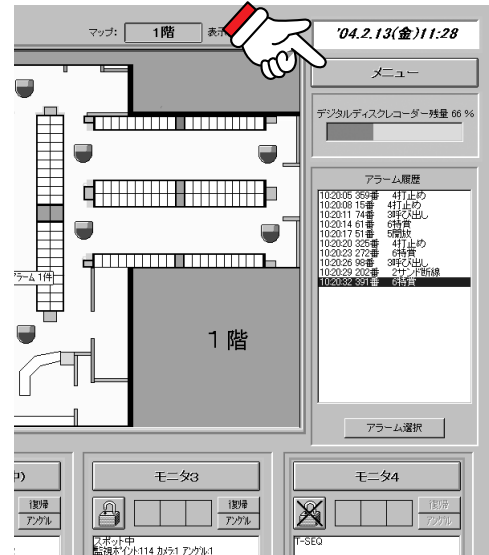
4.1 メニューパネル



4.2 メニューパネルの開きかた

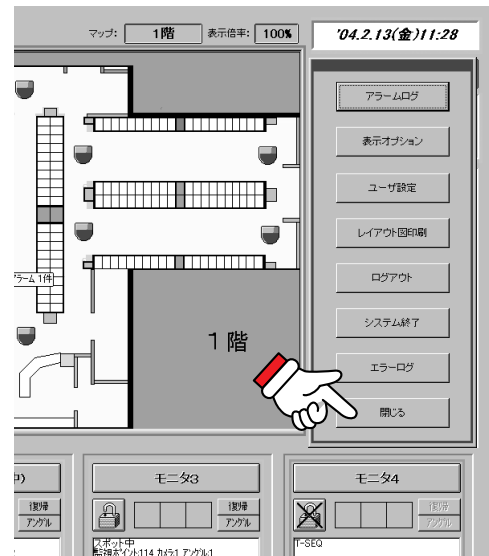
① 【メニュー】 ボタンをマウスでクリックする。

→メニューパネルが開きます。



②メニューパネルの【閉じる】 ボタンをクリックする。

→メニューパネルが閉じ、メイン画面の操作に戻ることができます。



第5章

アラームに関する操作

この章では、つぎの内容について説明します。

5.1 アラーム発生時のシステム動作	30
マップに表示されるアラーム情報	32
カメラを操作する	33
手動でアラームを解除する	33
現在表示している映像を録画する(手動アラーム)	34
アラームが発生した場所の現状を確認する	35
5.2 スキップ機能	36
5.3 アラームログ(履歴)を確認する	37
[アラームログ]画面の開きかた	38
アラーム用HDRを操作する	39
カメラ用HDRを操作する	40
アラームログを範囲を指定して抽出する	41
アラームログを並べ替える	42
ファイルを読み込んで表示する	43
アラームログリストを印刷する	44
アラームログを保存する(ファイル書き込み)	45

5.1 アラーム発生時のシステム動作

センサーが動作すると、センサーはシステムに信号（アラーム信号と呼びます）を送ります。

システムは、アラーム信号を受け取ると、次の動作を自動的にを行います。

- ・マップ上にアラームの発生場所や日時などのアラーム情報を表示します。
- ・モニタの映像をセンサーが動作した場所の映像に切り替えます。
- ・センサーが動作した場所の映像をデジタルディスクレコーダーに録画します※。
- ・システムに設定されている時間が経過すると、アラームを解除（リセット）します※。

※手動で操作することもできます。また動作内容はシステムによって異なります。

■カメラについて■

1つのアラームに対して最大4台のカメラが登録でき、4方向から監視できます。このため、1台のカメラが死角に入っても他のカメラで監視できます。アラームが入力されると、登録されているカメラの映像がモニタに表示されます。カメラにはあらかじめ優先順位が設定されており、優先順位に従ってモニタに映像が表示されます。アラームと連動して表示される映像をアラーム映像と呼びます。



- ・アラームの優先順位やアラームによる動作内容は、システムによって異なります。
- ・アラーム映像を表示するモニタに対してスキップ機能を「ON」にしている場合、アラーム映像は表示されません。また、アラームの優先順位によってはアラーム映像が表示されないこともあります。アラーム映像を確認したいときはアラーム履歴から手動で確認してください。（アラーム選択→P.37）。

■スキップ機能を設定している場合の動作■

モニタのスキップ機能を「ON」にすると、そのモニタには以後発生したアラーム信号に対する映像切り替えは行いません。モニタにはスキップ機能を「ON」にした時点の映像が表示されます（スキップ機能→P.36）。

■デジタルディスクレコーダーについて■

アラームが入力されると、デジタルディスクレコーダーはアラーム録画を開始します。録画内容は機器の設定によって異なります。

■アラームの解除について■

アラームは次の2とおりの方法で解除できます。

自動解除

アラーム動作はあらかじめ設定された時間（アラーム復帰時間）が経過すると、アラーム動作が解除され、スポット画面（個別にカメラ操作やプリセット選択の画面）を経てシーケンス動作に戻ります（アラーム復帰時間→P.57）。

手動解除

◆アラームをすべて解除するには◆

[オールリセット] ボタンをマウスでクリックする、またはコントローラーの（ALLリセット）スイッチを押すと、システムに入力されたアラームを手動ですべて復帰できます。アラームをすべて解除すると、デジタルディスクレコーダーのアラームLEDも消灯します。

◆モニタに表示されているアラームを個別に解除するには◆

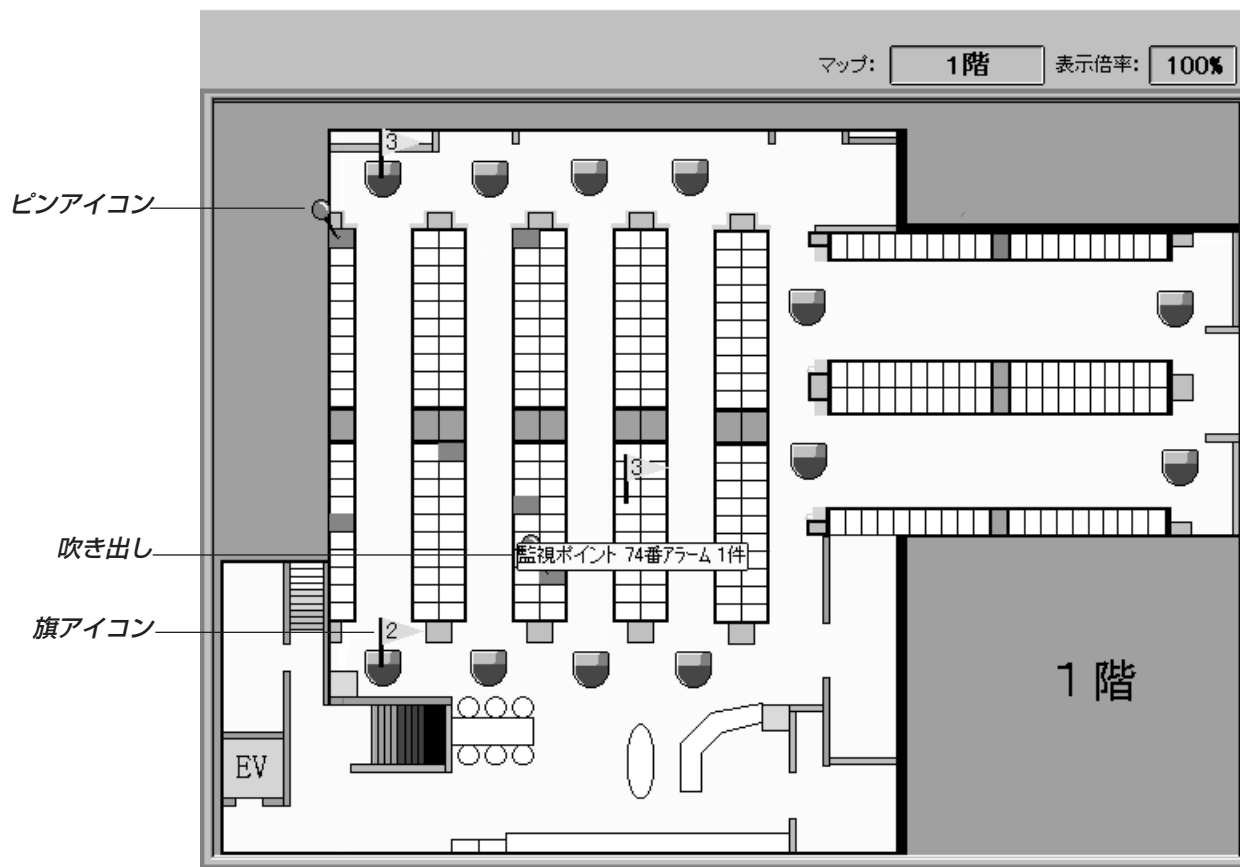
アラーム映像を表示しているモニタを選択した後、[復帰] ボタンをマウスでクリックする、またはコントローラーの（個別リセット）スイッチを押します。

アラームを個別に解除した場合、デジタルディスクレコーダーのアラームLEDは点灯し続けます。デジタルディスクレコーダーのアラームLEDを消したい場合は、[オールリセット] ボタンをマウスでクリックする、またはコントローラーの（ALLリセット）スイッチを押してください。

5.1 アラーム発生時のシステム動作

マップに表示されるアラーム情報

アラームが入力されると、マップ上にアラーム入力を知らせるマークや情報が表示されます。これらの表示は、[表示オプション] 画面で表示「する」/「しない」の設定ができます (→P.47)。



旗アイコン

センサーが動作すると以下の場所に表示されます。

- ・センサーが動作した場所
- ・センサーが動作した場所を映しているカメラ

また旗アイコンの数字はアラーム映像を表示しているモニタ番号を示しています。

ピンアイコン

アラームが発生した場所に表示されます。

吹き出し

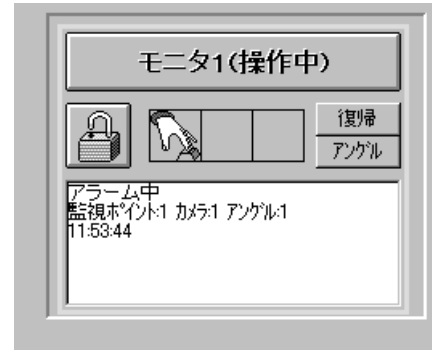
監視場所：監視場所の名前と、システム起動後からその場所で発生したアラーム累計件数が表示されます。

カメラ：カメラ番号が表示されます。

モニタボックス

現在、そのモニタに表示されているアラームの情報（以下）が表示されます。

- ・ 監視場所名（台番号など）
- ・ 表示中のカメラ番号とアングル番号
- ・ 出画開始時刻
- ・ タイトル
- ・ アラームの種類（アイコン表示）



アラーム履歴

メイン画面右側にあるボックスにアラームの履歴（以下）が表示されます。

- ・ アラーム発生時間
- ・ アラーム発生場所
- ・ アラームの内容



カメラを操作する

アラーム映像を表示しているモニタを選択すれば、その映像を映しているカメラを操作（パン／チルトなど）できます（→P.20）。

手動でアラームを解除する

■方法1：コントローラーによる操作■

（ALLリセット）スイッチまたは（個別リセット）スイッチを押す。

（ALLリセット）スイッチ：現在動作しているアラームを全て解除できます（シーケンス動作に復帰します）。

（個別リセット）スイッチ：アラーム映像を表示しているモニタを選択後、（個別リセット）スイッチを押します。そのモニタに表示しているアラームだけ解除できます（→P.31）。

■方法2：マウスによる操作■

各モニタボックスにある【復帰】ボタン、または【オールリセット】ボタンをクリックする。

【オールリセット】ボタン：現在動作しているアラームを全て解除できます（シーケンス動作に復帰します）。

【復帰】ボタン：現在そのモニタに表示しているアラームだけ個別に解除できます（→P.31）。

5.1 アラーム発生時のシステム動作

現在表示している映像を録画する（手動アラーム）

現在、モニタに表示させているアラーム映像をデジタルディスクレコーダーに録画できます。設定された時間が経過し、自動的にアラームが解除されるとアラームモードの録画を停止し、通常の録画に戻ります。



モニタがシーケンス中の場合、手動アラームによる操作はできません。

■方法1：コントローラーによる操作■

①カメラまたは監視場所を選択する。

→映像がモニタに表示されます。

②コントローラーの（手動アラーム）スイッチを押す。

アラーム履歴に「手動アラーム」、モニタボックスに「手動アラーム中」、「カメラ番号」、「監視場所の名前」（監視場所を選択した場合）、「時刻」が表示されます。

→デジタルディスクレコーダーは、アラーム録画を開始します。

■方法2：マウスによる操作■

①カメラまたは監視場所を選択する。

→映像がモニタに表示されます。

②【手動アラーム】ボタンを押す。

アラーム履歴に「手動アラーム」、モニタボックスに「手動アラーム中」、「カメラ番号」、「監視場所の名前」（監視場所を選択した場合）、「時刻」が表示されます。

→デジタルディスクレコーダーはアラーム録画を開始します。

アラームが発生した場所の現状を確認する

以前、アラームが発生した場所の現在の状況をモニタに表示します。アラーム履歴から確認したい場所を選択します。

①アラーム履歴の中から確認したい項目をクリックする。

→選択したアラームが反転表示されます。

② [アラーム選択] ボタンをクリックする。

→アラームが発生した場所の現在の映像がモニタに表示されます。



5.2 スキップ機能

選択したモニタにアラームが入力されてもアラーム入力を無視して、アラーム映像に切り替わらないように設定します。スキップ機能を動作させる時間など詳細は、「ユーザ設定」で設定します（→P.60）。



- スキップ機能の設定はカメラを操作しているときのみ有効です。選択しているモニタがシーケンス動作を行っているときは設定できません。
- スキップ機能を動作させるモニタを選択するには、「ユーザ設定」の「モニタ制御」であらかじめ「スキップ機能使用モニタ」が設定されていることを確認してください（→P.59）。

■方法1：コントローラーによる操作■

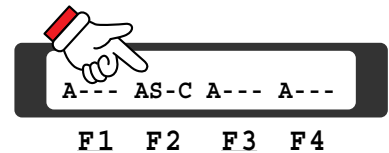
①モニタ選択キー（F1～F4）を押す。

→操作したいモニタが選択されます。

②再度、同じモニタ選択キーを押す。

→スキップ機能が「ON」になり、LCD上に「S」が表示されます。

モニタ2を選択したときは、（F2）キーを押します。



スキップ機能を「OFF」にするときは、スキップ機能を「ON」にしたモニタに対応するモニタ選択キーを押してください。

■方法2：マウスによる操作■

①モニタボックスのスキップボタンをクリックする。

→スキップ機能が「ON」となり、スキップボタンのアイコンが変わります。各モニタごとに設定できます。



スキップ機能を「OFF」にするときは、再度スキップボタンをクリックしてください。

5.3 アラームログ(履歴)を確認する

モニタに表示されなかったアラームも含めて、1日分のアラームログ(履歴)をリスト形式で確認できます。確認するには [アラームログ] 画面を表示します。また、[アラームログ] 画面で以下の操作もできます。

- ・ 範囲指定や並び替えによるアラームの検索 ([範囲指定] [並び替え])
- ・ リストの印刷 ([アラームログ印刷])
- ・ データの読み込みや書き込み ([ファイル読み込み] [ファイル書き込み])
- ・ アラーム用HDRの操作、カメラ用HDRの操作

番号	アラーム発生時刻	監視ポイント名	アラーム内容	モニタ	CAM	HDR
1	2004/01/23 09:48:24	-	15手動アラーム	1	2	1
2	2004/01/23 09:49:33	10	1手動呼出し	1	1	1
3	2004/01/23 09:49:33	10	1手動呼出し	2	2	1
4	2004/01/23 09:50:52	215	3呼び出し	1	17	1
5	2004/01/23 09:50:52	215	3呼び出し	2	18	1
6	2004/01/23 09:51:46	71	4打止め	1	5	1
7	2004/01/23 09:51:46	71	4打止め	2	6	1
8	2004/01/23 09:52:41	162	5開放	1	13	1
9	2004/01/23 09:52:41	162	5開放	2	14	1
10	2004/01/23 09:53:25	28	7木枠-磁石	1	1	1
11	2004/01/23 09:53:25	28	7木枠-磁石	2	2	1
12	2004/01/23 09:53:59	1	6特賞	1	1	1
13	2004/01/23 09:53:59	1	6特賞	2	2	1
14	2004/01/23 09:54:44	122	8金庫ドア	1	9	1
15	2004/01/23 09:54:44	122	8金庫ドア	2	10	1
16	2004/01/23 10:01:58	33	2サント断線	1	1	1
17	2004/01/23 10:01:58	33	2サント断線	2	2	1
18	2004/01/23 10:03:23	-	15手動アラーム	1	17	1
19	2004/01/23 10:04:24	52	1手動呼出し	1	5	1
20	2004/01/23 10:04:24	52	1手動呼出し	2	6	1
21	2004/01/23 10:05:35	67	4打止め	1	5	-
22	2004/01/23 10:05:35	67	4打止め	2	6	-
23	2004/01/23 10:04:59	7	3呼び出し	1	1	1
24	2004/01/23 10:04:59	7	3呼び出し	2	2	1
25	2004/01/23 10:06:28	-	6特賞	1	9	1

アラーム用HDR | カメラ用HDR

表示設定

映像Ch指定
カメラ番号: 01
HDR番号: 01 | Ch番号: 01

電子ズーム
ON OFF
+ -
左 上 右 下

多画面
多画面分割選択
1画面選択

再生操作

逆再生 コマ戻し コマ送り 再生
一時停止 停止

倍速
スロ- 1 2 5 10 20 50 100

アラームログ検索
検索

04年01月23日 10時55分
検索

5.3 アラームログ(履歴)を確認する

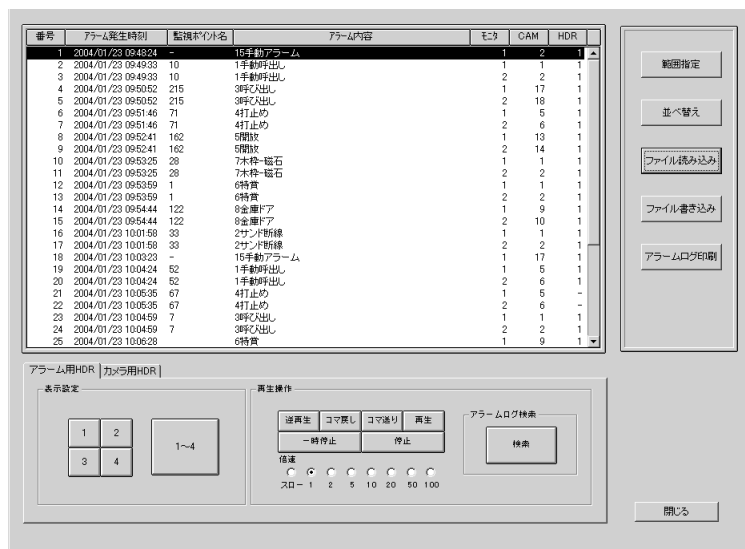
【アラームログ】画面の開きかた

- ① 【メニュー】 ボタンをクリックする。

→メニューパネルが開きます。

- ② 【アラームログ】 ボタンをクリックする。

→ 【アラームログ】 画面が開きます。



- ③ 【アラームログ】 画面の操作を終了するときは、【閉じる】 ボタンをクリックする。

アラーム用HDRを操作する

アラーム発生時の録画映像を再生します

① [アラーム用HDR] タブをクリックする。

→アラーム用HDR操作画面が表示されます。



② 各種操作を行う。

表示設定

1画面表示： [1] ~ [4] いずれかのボタンをクリックする。クリックしたチャンネルの再生映像を1画面で表示します。

4画面表示： [1~4] ボタンをクリックする。再生映像を4画面で表示します。

検索

アラームログに記録されたアラーム情報を選択し、検索することができます。



デジタルディスクレコーダーを上書きで運用している場合、既にも書きされたレコードを検索すると、最も古い画像が表示されます。

デジタルディスクレコーダーの操作（逆再生、コマ戻し、コマ送り、再生、一時停止、停止）

各操作ボタンをクリックする。

倍速（スロー～100倍速）

再生時、再生速度を選択できます。

逆倍速（逆スロー～-100倍速）

逆再生時、再生速度を選択できます。

カメラ用HDRを操作する

カメラ用HDRを操作することができます。

以下の操作を行うことができます。

- ・カメラを選択して、選択したカメラの録画画像のみ表示する。デジタルディスクレコーダーが複数続されている場合、デジタルディスクレコーダーと入力チャンネルを指定して操作することもできます。
- ・再生映像を拡大して表示する（電子ズーム）。
- ・画面を分割して、カメラごとに再生映像を表示することができます（多画面）。グループ表示または分割数を変更して表示することもできます。
- ・再生（アラーム用HDRと同じ操作ができます）

①【カメラ用HDR】タブをクリックする。



→カメラ用HDRの操作画面が表示されます。



②表示設定ボックスで表示したいカメラ番号、HDR番号（Ch番号）を選択する。

→選択したカメラ番号またはカメラ番号の再生映像が表示されます。

→電子ズームで映像を拡大するときは、[ON] をクリックする。

[+] をクリックすると再生画像を拡大することができます。[-] をクリックすると元の大きさに戻ります。拡大位置は、[上] [下] [左] [右] をクリックして移動できます。

→多画面ボックスのボタンをクリックすると画面の分割数を変更できます。

③再生操作を行う。

④再生ポイントを検索する。

日時を選択し、[検索] をクリックすると、指定した日時に近い映像を再生します。



・【カメラ用HDR】タブで操作できる内容について

【カメラ用HDR】タブはデジタルディスクレコーダー前面にあるボタンを押したときと同等の機能を提供するものです。デジタルディスクレコーダーの状態によっては、ボタンを押しても操作できないことがあります。画面の分割数は、デジタルディスクレコーダーの設定によって異なります。詳しくは、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。

・カメラ用HDRとアラーム用HDRの違い

アラーム用HDRにはアラーム発生時の映像のみが録画されています。これに対し、カメラ用HDRにはカメラが撮影した映像が録画されています。

5.3 アラームログ(履歴)を確認する

アラームログを範囲を指定して抽出する

表示している [アラームログ] 画面のリストの中から時間や監視場所の番号、アラーム内容を条件にして、表示する内容を絞り込むことができます。

① [範囲指定] ボタンをクリックする。

→ 「アラームログ範囲指定」画面が開きます。

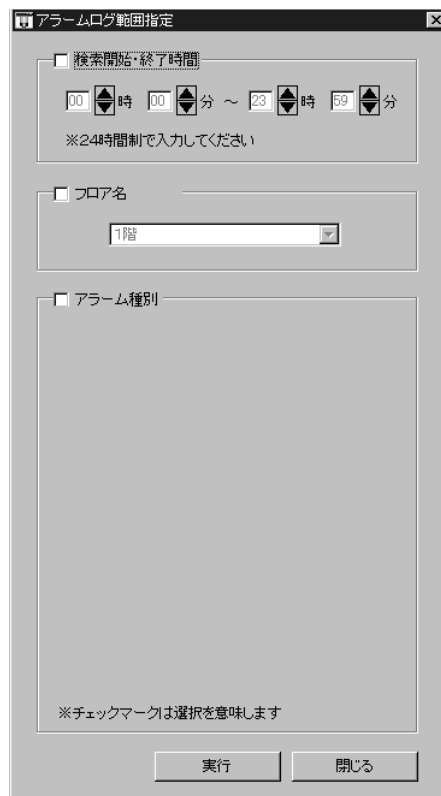
② 「検索開始・終了時間」「フロア名」「アラーム種別」から検索条件にしたい項目のチェックボックスをクリックする。

→ 項目左にあるチェックボックスにチェックマークが付きます。

③ 検索条件を設定する。

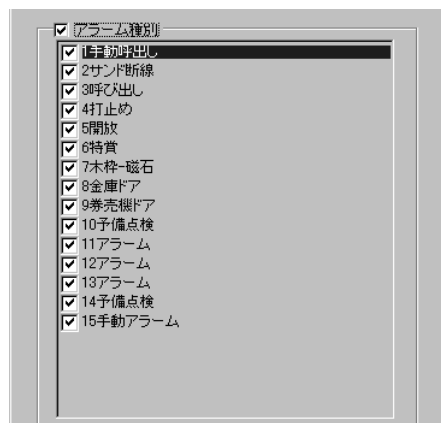
「検索開始・終了時間」で検索： 検索したい時刻の範囲を指定します。時刻の範囲を24時間制で入力し、[実行] ボタンをクリックする。

「フロア名」で検索： フロア名を選択し、[実行] ボタンをクリックする。



「アラーム種別」で検索： 表示されているアラーム種別のリストの中から、検索条件にしたいアラームのチェックボックスをクリックする。

④ [実行] ボタンをクリックする。



アラームログを並び替える

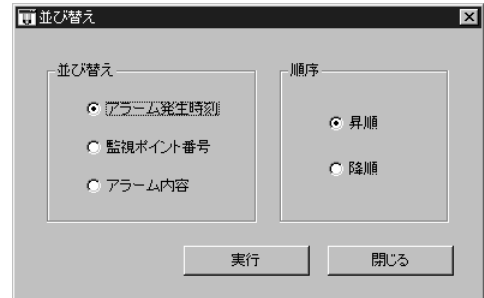
表示している [アラームログ] 画面のリストをアラーム発生時刻・監視場所の番号・アラーム内容を条件に並び替えることができます。

① **【並び替え】** ボタンをクリックする。

→ 「並び替え」画面が表示されます。

② **並び替えの条件を「並び替え」と「順序」から選択し、クリックする。**

→ 「並び替え」と「順序」が設定されます。



③ **【実行】** ボタンをクリックする。

→メッセージが表示されたあと、リストが条件に従って並び替えられます。

操作を取り消すときは [閉じる] ボタンをクリックしてください。[アラームログ] 画面に戻ります。

5.3 アラームログ(履歴)を確認する

ファイルを読み込んで表示する

フロッピーディスク (FD) やハードディスク (HD) に保存したアラームログのリストを読み込んで、[アラームログ] 画面に表示できます。

① [ファイル読み込み] ボタンをクリックする。

→「ファイル読み込み」画面が表示されます。

② 読み込みたいファイルを指定する。

HDからファイルを読み込みたいとき

- (1) [HDファイル表示] ボタンをクリックする。
→保存されているログファイル名が表示されます。
- (2)読み込みたいファイルをクリックし、選択する。

別のディスクからファイルを読み込みたいとき

- (1)ログファイルを保存したディスクを入れてから [バックアップファイル表示] ボタンをクリックする。
→バックアップ先ディレクトリに保存されているログファイル名が表示されます。
- (2)読み込みたいファイルをクリックし、選択する。



③ [読み込み] ボタンをクリックする。

→選択したログファイルの内容が [アラームログ] 画面に表示されます。
操作を取り消すときは [閉じる] ボタンをクリックしてください。 [アラームログ] 画面に戻ります。

アラームログリストを印刷する

アラームログのリストをPCに接続されているプリンターに印刷できます。



プリンターの設定のしかたについては、サービスにご相談ください。

① **【アラームログ印刷】 ボタンをクリックする。**

→ **【印刷設定】** 画面が表示されます。

② **印刷範囲を選択する。**

すべてのアラームログを印刷したいとき

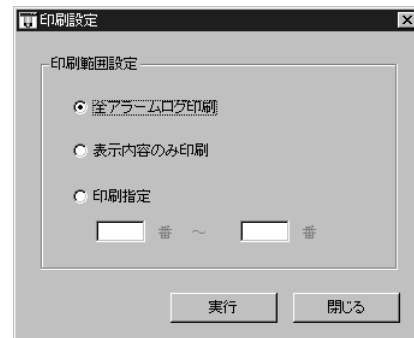
【全アラームログ印刷】 をクリックする。

表示されているアラームログだけを印刷したいとき

【表示内容のみ印刷】 をクリックする。

特定のアラームログだけを印刷したいとき

【印刷指定】 をクリックし、テンキーで開始番号、終了番号を入力する。



③ **【実行】 ボタンをクリックする。**

→印刷が開始され、**【印刷設定】** 画面が閉じ、**【アラームログ】** 画面に戻ります。

5.3 アラームログ(履歴)を確認する

アラームログを保存する (ファイル書き込み)

アラームログのリストは、自動的にハードディスクの決まった場所に保存されます。

また、保存されているアラームログのリストをバックアップ先ディレクトリに設定した別のディスクなどにコピーして保存することもできます。

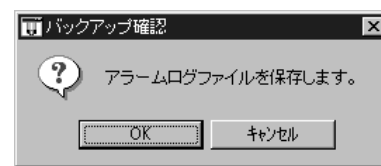


- ・アラームログファイルの1つの大きさは約1MBです。1MBを超えた場合、新規にアラームログファイルを作成し、アラームログを記録します。
- ・保存するFDは「2HD 1.44メガバイト」のFDを使用してください。
- ・FDにコピーする場合は、FDの書き込み防止用のツメが、書き込み可の位置になっていることを確認してください。

①保存するディスクをPCに挿入する。

② [ファイル書き込み] ボタンをクリックする。

→ [バックアップ確認] メッセージが表示されます。



③ [OK] ボタンをクリックする。

→メッセージが表示され、アラームログのリストが指定したディスクに保存されます。

保存を取り消すときは [キャンセル] ボタンをクリックしてください。[アラームログ] 画面に戻ります。

第6章

アラーム情報の表示設定

この章では次の内容について説明しています。

- 6.1 [表示オプション] 画面47
 - [表示オプション] 画面の開きかた47
- 6.2 マップ表示するアラーム情報の設定48
- 6.3 ピン表示の表示時間の設定49
- 6.4 監視ポイントの色の設定50

6.1 [表示オプション] 画面

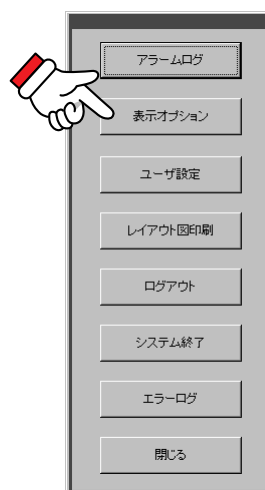
モニタ表示に関する設定は [表示オプション] 画面で行います。[表示オプション] 画面では以下の設定ができます。

- ・ マップ表示するアラーム情報（旗・色・ピン）
- ・ ピン表示の表示時間
- ・ 監視ポイントの色（アラーム発生件数によって色分けすることができる）



[表示オプション] 画面の開きかた

- ① [メニュー] ボタンをクリックする。
→メニューパネルが開きます。
- ② [表示オプション] ボタンをクリックする。
→ [表示オプション] 画面が開きます。
- ③ [表示オプション] 画面の操作を終了するときは、[OK] ボタンまたは [キャンセル] ボタンをクリックする。



6.2 マップ表示するアラーム情報の設定

マップに表示したいアラーム情報を設定します。

- ① 「レイアウト図表示」で表示させたいアラーム情報のチェックボックスをクリックする。

→項目左にあるチェックボックスにチェックマークが付きます。



- ② [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。

→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



6.3 ピン表示の表示時間の設定

アラームが発生したときに、アラーム発生場所に表示される「ピン」(→P.32)の表示時間を設定します。

①▼をクリックして「ピン表示タイマー」を設定する。

② [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。

→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



6.4 監視ポイントの色の設定

監視ポイントはアラーム発生件数によって異なった色で表示させることができます。色と件数の組み合わせは6種類まで設定できます。

① ▲または▼をクリックして、何件ごとに色を変えるか（件数の範囲）を設定する。

→件数が設定されます。



② 色選択（6つのボックスのいずれか）にカーソルを移動し、クリックする。

→色を選択するボックスが指定されます。



③ マウスを「色設定」に移動し、設定したい色をクリックする。

→色が設定されます。色と件数の組み合わせを複数設定したい場合は、①~③の操作を繰り返します。色を設定しないときは [色表示クリア] ボタンをクリックしてください。



④ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。

→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。

第7章 設定内容の変更（ユーザ設定）

この章では次の内容について説明しています。

7.1	【ユーザ設定】画面	53
	【ユーザ設定】画面の開きかた	53
7.2	現在時刻の設定	54
7.3	システム自動終了時刻の設定	55
7.4	アラーム動作を設定する	56
	アラーム動作を行う／行わないを設定する	56
	アラーム復帰時間を設定する	57
	連続アラーム機能を使う／使わないを設定する	57
7.5	手動アラームの復帰時間の設定	58
7.6	モニタ制御に関する設定	59
	スキップ機能を設定するモニタを選択する	59
	スキップ機能を動作させる時間を設定する	60
	シーケンス復帰時間を設定する	60
7.7	アラームログの設定	61

7.1 [ユーザ設定] 画面

各種設定の変更は [ユーザ設定] 画面で行います。[ユーザ設定] 画面では以下の設定変更ができます。

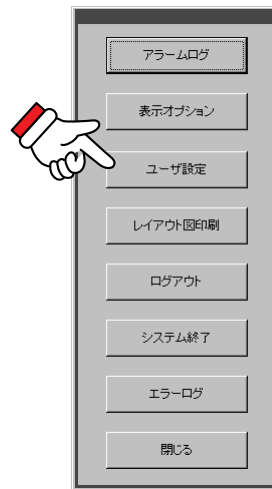
- ・ 現在時刻を設定する (現在時刻)
- ・ システムの自動終了時刻を設定する (自動終了)
- ・ アラームの動作を設定する (アラーム)
- ・ 手動アラームの復帰時間を設定する (手動アラーム)
- ・ モニタ制御に関する設定を行う (モニタ制御)
- ・ アラームログ (履歴) を作成する / しないを設定する (ログファイル)



<ユーザ設定画面 (例) 「現在時刻」表示>

[ユーザ設定] 画面の開きかた

- ① [メニュー] ボタンをクリックする。
→メニューパネルが開きます。
- ② [ユーザ設定] ボタンをクリックする。
→ [ユーザ設定] 画面が開きます。
- ③ [ユーザ設定] 画面の操作を終了するときには、[OK] ボタン
または [キャンセル] ボタンをクリックする。



7.2 現在時刻の設定

現在時刻を設定します。

- ① 「現在時刻」タブをクリックする。
→ 「現在時刻」画面が表示されます。
- ② ▲または▼をクリックして、「日付設定」「時刻設定」を設定する。
- ③ 「更新」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは「更新」ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは「キャンセル」をクリックしてください。



7.3 システム自動終了時刻の設定

システムの自動終了をする／しないと自動終了の時刻を設定します。

① 「自動終了」タブをクリックする。

→ 「自動終了」画面が表示されます。

② 「自動終了」「自動終了時刻」を設定する。

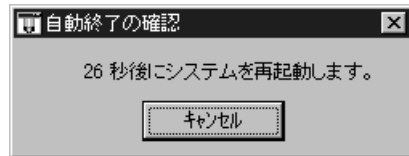
→ 「自動終了」：「終了しない」、「終了する」、「再起動する」のいずれかを選択します。

「自動終了時刻」：マウスで▲または▼をクリックして、時刻を設定します。また、「待ち時間」では「自動終了の確認」画面が表示されてから、システムが終了するまでの待ち時間を設定できます。



③ 「更新」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックする。

→他の項目を設定するときは「更新」ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは「キャンセル」をクリックしてください。



例：自動終了の設定を「再起動」に設定している場合

7.4 アラーム動作を設定する

アラームに関する以下の動作を設定します。

- アラーム信号が入力されたときに、アラーム動作を行う／行わない（アラーム種別ごとに設定が可能）
- アラーム復帰時間
- 連続アラーム機能（同一監視場所に入った複数のアラームを組み合わせると別のアラームとして登録し、通常のアラーム動作をする機能）を使用する／しない

アラーム動作を行う／行わないを設定する

- ① 「アラーム」タブをクリックする。
→ [アラーム] 画面が表示されます。
- ② 「アラーム連動」の「する」「しない」のどちらかを設定する。
→ 「する」を設定した場合、アラーム種別ごとに設定できます。
- ③ アラーム種別ごとに設定する場合、[アラーム種別設定] ボタンをクリックする。
→ [アラーム登録] 画面が表示されます。
- ④ 表示されているアラーム種別のリスト※の中から、アラーム連動させたいアラーム種別をクリックする。
→ 選択後、[登録] ボタンを押します。

※アラーム登録一覧の内容はシステムによって異なります。



7.4 アラーム動作を設定する

アラーム復帰時間を設定する

- ① 「アラーム」タブをクリックする。
→ [アラーム] 画面が表示されます。
- ② ▼をクリックして「タイムアウト」を設定する。
→ 「その他」を選択した場合は、リスト以外に1～99秒の間で好きな時間を設定できます。▲または▼をクリックして設定してください。
- ③ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



連続アラーム機能を使う／使わないを設定する

- ① 「アラーム」タブをクリックする。
→ [アラーム] 画面が表示されます。
- ② 「連続アラーム」の「する」「しない」のどちらかを設定する。
→ 「する」を設定した場合、▲または▼をクリックしてアラームの間隔を設定してください。
- ③ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



7.5 手動アラームの復帰時間の設定

手動アラームの自動復帰時間を設定します。

- ① 「手動アラーム」 タブをクリックする。

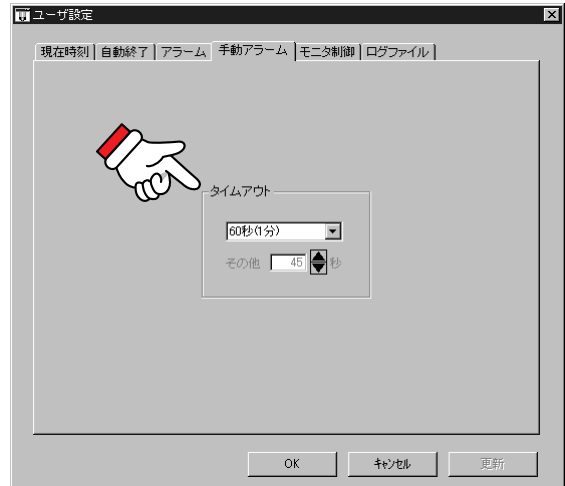
→ 「手動アラーム」 画面が表示されます。

- ② ▼をクリックして「タイムアウト」を設定する。

→ 「その他」を選択した場合は、リスト以外に1～99秒の間で好きな時間を設定できます。▲または▼をクリックして設定してください。

- ③ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。

→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



7.6 モニタ制御に関する設定

モニタ制御に関する以下の動作を設定します。

- ・スキップ機能を設定するモニタの選択
- ・スキップ機能を動作させる時間（スキップ復帰時間）
- ・個別にカメラ操作やプリセット選択をしてから、シーケンス動作に戻るまでの時間（シーケンス復帰時間）

スキップ機能を設定するモニタを選択する

- ① 「モニタ制御」タブをクリックする。
→ [モニタ制御] 画面が表示されます。
- ② 「スキップ機能使用モニタ」で設定したいモニタの
チェックボックスにチェックをする。
- ③ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してく
ださい。また、設定を取り消すときは [キャンセル]
をクリックしてください。



スキップ機能を動作させる時間を設定する

- ① 「モニタ制御」 タブをクリックする。
→ [モニタ制御] 画面が表示されます。
- ② ▼をクリックして「スキップタイムアウト」を設定する。
→ 「その他」を選択した場合は、リスト以外に1～99秒の間で好きな時間を設定できます。▲または▼をクリックして設定してください。
- ③ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



シーケンス復帰時間を設定する

- ① 「モニタ制御」 タブをクリックする。
→ [モニタ制御] 画面が表示されます。
- ② ▼をクリックして「スポットタイムアウト」を設定する。
→ 「その他」を選択した場合は、リスト以外に1～99秒の間で好きな時間を設定できます。▲または▼をクリックして設定してください。
- ③ [更新] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは [更新] ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは [キャンセル] をクリックしてください。



7.7 アラームログの設定

アラームログ（履歴）を作成する／しないを設定します。

- ① 「ログファイル」タブをクリックする。
→ 「ログファイル」画面が表示されます。
- ② 「ログファイル」の「作成する」「作成しない」のどちらかを設定する。
- ③ 【更新】ボタンまたは【OK】ボタンをクリックする。
→他の項目を設定するときは【更新】ボタンを押してください。また、設定を取り消すときは【キャンセル】をクリックしてください。



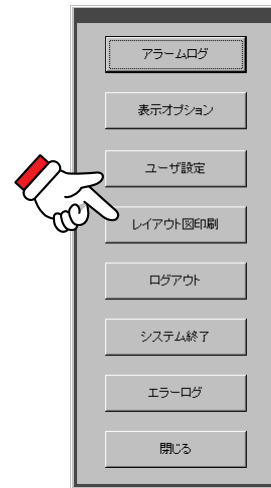
第8章 マップの印刷

8.1 マップを印刷する

現在表示されているマップを印刷します。

- ① **【メニュー】 ボタンをクリックする。**

→メニューパネルが開きます。



- ② **【レイアウト図印刷】 ボタンをクリックする。**

→印刷を設定するための画面が表示されます。画面はお使いのプリンタドライバによって異なります。

付 録

この章では次の内容について説明しています。

ユーザパスワードを設定する	65
エラーログを表示する	67

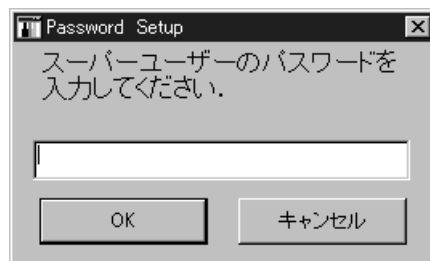
ユーザパスワードを設定する

システムを起動する際、ユーザー名とパスワードを入力して起動するよう設定できます。ユーザは20人まで登録できます。通常はオートログイン機能が設定されており、パソコンの電源を入れると自動的に本システムが起動するように設定されています。

ユーザー名とパスワードは、別のアプリケーションを起動して設定します。このアプリケーションではオートログイン機能のあり／なしの設定もできます。

- ①Windows 2000起動画面から [スタート] - [プログラム] - [AS230] - [AS230パスワード設定アプリ] の順に選択する。

→スーパーユーザーパスワードの入力画面が表示されます。



- ②スーパーユーザパスワードを入力し、[OK] ボタンを押す。

→ [Password Setup] 画面が表示されます。

お買い上げ時、スーパーユーザーパスワードは「12345」が設定されています。



スーパーユーザーパスワードは必ず変更してください。

- ③ 「スーパーユーザパスワード」、「ユーザー名」、「ユーザーパスワード」、「スイッチャID」、「スイッチャパスワード」の中から選択したい項目の欄をクリックして、設定したい内容を入力し、[更新] または [OK] ボタンを押す。

各項目の文字数制限は以下のとおりです。

- ・ スーパーユーザパスワード : 半角英数字5文字以内
- ・ ユーザー名 : 半角英数字10文字以内
- ・ ユーザーパスワード : 半角英数字16文字以内



	ユーザー名	ユーザーパスワード	スイッチャID	スイッチャパスワード
1	USER1	AS210	1	12345
2	USER2	55555	1	12345
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				

オートログイン機能: あり なし オートログインユーザ:

OK キャンセル 更新

◆スイッチャIDとスイッチャパスワードについて◆

使用しているマトリクススイッチャの機種によって設定内容が以下のように異なります。

<WJ-SX777シリーズを使用している場合>

スイッチャIDは「1」をスイッチャパスワードは「12345」を入力してください。

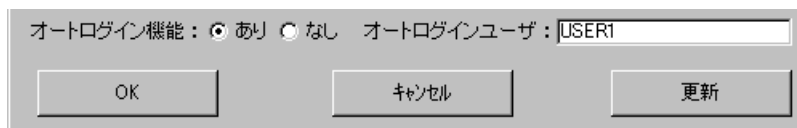
<WJ-SX550シリーズを使用している場合>

WJ-SX550で登録しているスイッチャIDとスイッチャパスワードを入力する必要があります。登録したスイッチャIDとスイッチャパスワードを確認してから、入力を行ってください。

確認方法はWJ-SX550の取扱説明書をお読みください。

◆オートログイン機能を設定するときは◆

オートログイン機能の「あり」をクリックし、「オートログインユーザー」を設定してください。ユーザーのリストからオートログインとして使用するユーザをクリックして、選択してください。



オートログイン機能: あり なし オートログインユーザ:

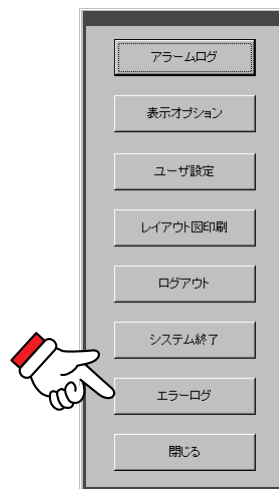
OK キャンセル 更新

エラーログを表示する

本システムではシステムに異常が起こった場合、エラーをエラーログ（履歴）として記憶しています。そのエラー内容をエラーログ（履歴）で確認できます。

① **【メニュー】 ボタンをクリックする。**

→メニューパネルが開きます。



② **【エラーログ】 ボタンをクリックする。**

→【エラーログ】画面が開きます。



③ **【エラーログ】画面の操作を終了するときは、【閉じる】ボタンをクリックする。**

索引

A

AFスイッチ	9
ALARM LED	9
ALLリセットスイッチ	8
AVディスクレコーダー	3

B

BUSY LED	9
----------	---

C

CAM/実行キー	9
----------	---

L

LCD	8
-----	---

M

MON/ポイントキー	9
------------	---

P

Password Setup画面	65
PC	3

あ

アイリス（絞り）の調整	21
アラーム種類表示部	7
アラーム情報の設定	48
アラーム情報の表示設定	46
アラーム選択ボタン	4, 35
アラームタブ	56
アラーム動作	56
アラームに関する操作	29
アラーム発生時のシステム動作	30
アラーム復帰時間を設定する	57
アラーム用HDR状態表示	4
アラーム用HDRを操作する	39
アラーム履歴	4, 33
アラームログ	38, 61
アラームログ（履歴）を確認する	37
アラームログ印刷	37
アラームログ画面	38
アラームログ範囲指定画面	41
アラームログを範囲を指定して抽出する	41
アラームログボタン	26, 38
アラームログリストを印刷する	44
アラームログを並べ替える	42
アラームログを保存する	45
アラームログ印刷ボタン	44
アングルボタン	7
印刷設定画面	44
映像表示（キャプチャー画面）に切り替える	24
液晶ディスプレイ(LCD)	8

液晶ディスプレイ	8
エラーログ画面	67
エラーログボタン	26, 67
エラーログを表示する	67
オートパンスイッチ	8, 21
オートフォーカス	21
オートログイン機能	66
オールリセットボタン	4

か

回転台の操作	21
外部機器制御1スイッチ	8
外部機器制御2スイッチ	8
外部機器の制御	21
カメラ	3
カメラアングルを切り替える	22
カメラ操作画面	21
カメラ操作後、シーケンス動作に戻す	22
カメラ操作ボタン	4
カメラを選択する	19
カメラを操作する	19, 20, 22
カメラを直接選択する	19
カメラ用HDRを操作する	40
監視場所	6
監視場所からカメラを選択する	19
監視ポイントの色を設定する	50
起動方法	13, 14, 16
基本的な操作	12
キャプチャーボタン	4
現在時刻タブ	54
現在時刻を設定する	54
個別リセットスイッチ	8
コントローラー	8

さ

シーケンス復帰時間	60
システム終了ボタン	26
システムの概要	1
システムの起動と終了	11
システムの構成	2
システムの自動終了時刻を設定する	56
自動解除	31
自動切替	24
自動終了	14
自動終了タブ	55
終了方法	13, 14, 16
手動アラームボタン	4
手動アラーム	34
手動アラームスイッチ	8
手動アラームタブ	58
手動アラームの復帰時間を設定する	58
手動解除	31
手動終了	15
ジョイスティック	8
スイッチャID	66
スーパーユーザーパスワード	65, 66

ズームスイッチ	9
ズーム操作	21
スキップ機能	36
スキップ機能 [時間設定]	60
スキップ機能 [モニタ選択]	59
スキップボタン	7
設定内容の変更	52

た

デジタルディスクレコーダー	3
デフロスター	21
テンキー	9

な

並び替え	37
------	----

は

パーソナルコンピューター	3
旗アイコン	6, 32
範囲指定	37
範囲指定ボタン	41
日付表示	4
[表示オプション] 画面	47
表示オプションボタン	26
表示倍率ボタン	4
標準機器構成	2
ピン	6
ピンアイコン	32
ピン表示の表示時間を設定する	49
ファイル書き込み	37, 45
ファイル書き込みボタン	45
ファイル読み込み	37
ファイル読み込み画面	43
ファイル読み込みボタン	43
フォーカスの調整	21
吹き出し	6, 32
復帰ボタン	7
プリセットスイッチ	8
プリンター	3

ま

マップ切替ボタン	4
マップに表示されるアラーム情報	32
マップの印刷	62
マップ表示部	4, 6
マップを拡大表示する	23
マップを切り替える	23
マップを操作する	23, 24
マップ表示	48
マトリクススイッチャー	3
メイン画面	4, 6
メニューパネル	26
メニューパネルの開きかた	27
メニューボタン	4
モニタ選択キー	8, 36
モニタ状態表示部	4

モニタ制御タブ	59
モニタ制御に関する設定を行う	59
モニタ選択ボタン	7
モニタボックス	7, 33
モニタを選択する	18

や

ユーザ設定ボタン	26
ユーザーパスワード	66
ユーザー名	66
ユーザ設定	52
ユーザ設定画面	53
ユーザパスワードを設定する	65

ら

ランダムパン	21
履歴	38
レイアウト図印刷ボタン	26
レイアウト図印刷ボタン	63
連続アラーム機能	57
ログアウトする	16
ログアウトボタン	26
ログファイルタブ	61

わ

ワイパー	21
------	----

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-AS230K
	販売店名	電話 () —				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410